

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鉄線管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鉄線管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊り場合は
液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
 - アングルフランジ工法
 - 共板フランジ工法
 - スライドオンフランジ工法
- 工法
- 山形鋼 JIS G 3101
 - SUS鋼材 JIS G 4317
 - スパイラルダクト
 - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多温箇所) AS-62 (RS-VU)
- 形鋼補強
丸ダクト

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

<input type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9504 2号 40K 保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 温水管
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温板、保温帯、ブランクネット 1号 JIS A 9504		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9511 3号 保温板 JIS A 9511 3号		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 消火管
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> 調合ペイント塗料 (露出)	JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	~25A	32~200A	250A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	-	-	-

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	~25A	32~80A	100A~	-

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部(ロックウール)	
75mm	煙導(ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	75% 塩化ビニル保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ピット内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブチン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P S内	75% 塩化ビニル保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ			
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ピット内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上(給食室内を除く(屋内一般))
■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上(屋外露出・給食室内)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上 カラー鉄板(屋内)
冷水・冷温水ヘッダー					
温水・膨張・温水	紙	保温板	鉄線		
貯湯タンク					
温水・蒸気ヘッダー					
熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
屋内隠蔽、D S内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
屋外露出、多温箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
屋内隠蔽、多温箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
屋外露出、多温箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンパー	紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網	
消音チャンパー、エルボ	紙	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道	フランケット	紙	カラー鉄板		

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による垂鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

- S A
 - 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - E A
 - 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - R A
 - 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - O A
 - 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()

(4) スリーブ工事

- 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大 (=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。
- 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

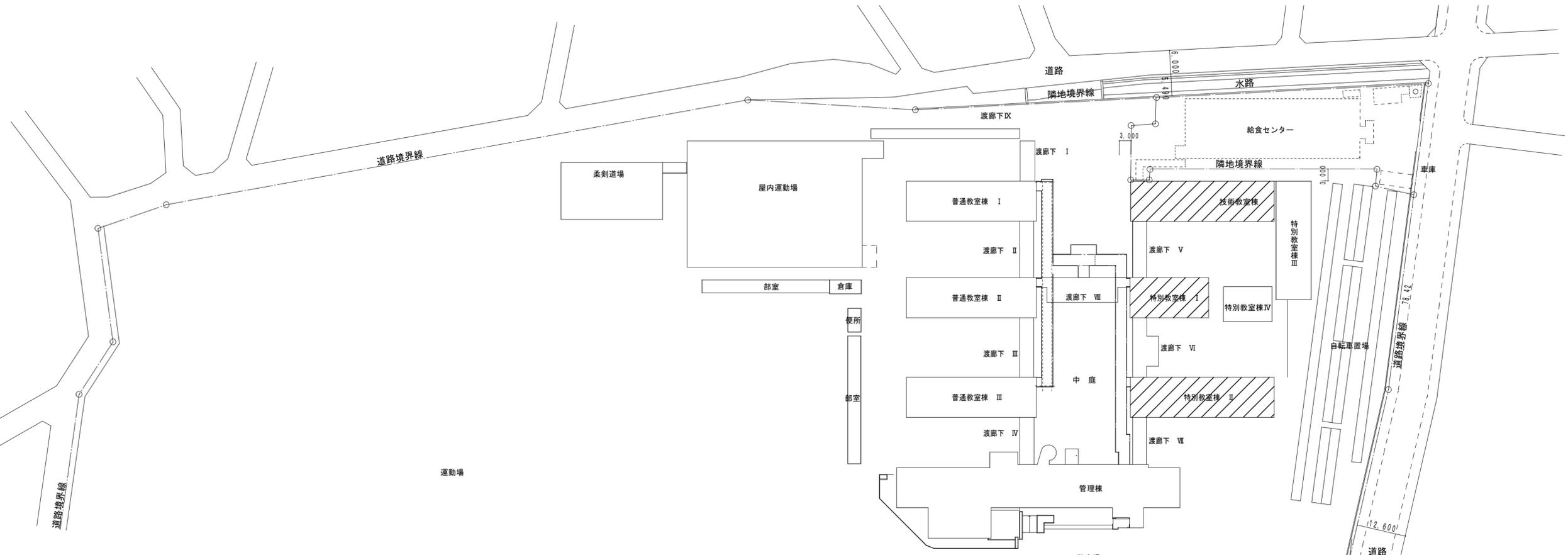
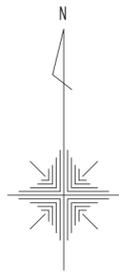
共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜きを設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書・標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けのガリリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - ・接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多温箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は場外自由処分とすること。

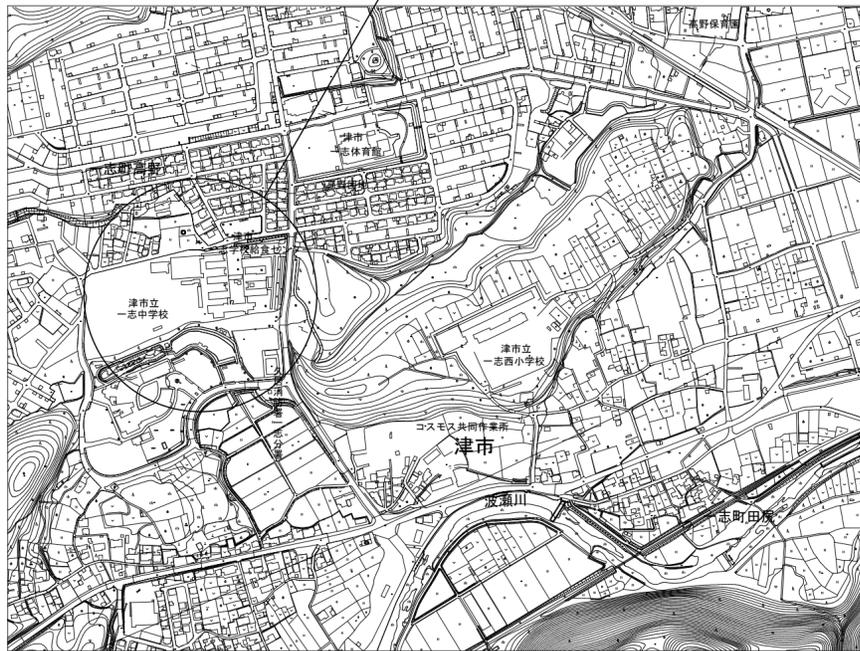
※特記事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
- ※ 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、また休日等の行事に影響を与えない範囲とする。
- ※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 安全対策として、作業範囲にはコーンバー等を設置すること。
- ※ 側溝、樹等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
- ※ 工事車両の出入りについては、登下校時間を避け安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
- ※ 工事着手前には、現状状況把握のために破損箇所等があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告をすること。
- ※ 本工事の現場施工にあたっては学校運営に支障のないように、土日祝日等休日に施工を行うようにすること。ただし、平日であっても授業等に影響のない範囲に限り施工を行うことを認める。
- ※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室空調設備設置工事		縮尺	—
図面名称	機械設備 特記仕様書(2)	原図	A 2
津市建設部営繕課		No	MTK-02



工事場所



位置図

凡例 対象建築物
配置図 1 : 800

津市立一志中学校

備考	(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆	設計代表者	設計担当者	SCALE	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事 工事名称 図面名称 空調設備 付近見取図・配置図	M-01 原図: A2
		一級建築士 No.24224 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/800 A3 : 1/1128 DATE		

空調凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
— R —	冷媒管		空調室内機	RS	集中管理リモコン
— D —	ドレン管		空調室外機		

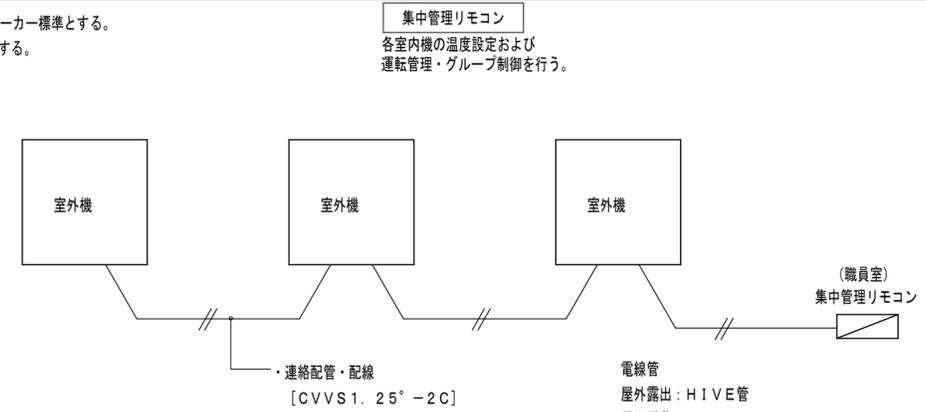
空調機器表 形式 ヒートポンプ式

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量				台数	備考				
			相	電圧	圧縮機	送風機						
ACP-1	ヒートポンプ式エアコン	形式	天井吊下げ形：同時ツイン	3	200	5.70	0.150X2	0.292X2	4	設置場所： 1階第一理科室、第二理科室 2階美術室、美術室		
		冷房能力	25.0 (11.3~28.0)kW									
		暖房能力	28.0 (12.6~35.0)kW									
		冷房消費電力	10.4 kW									
		暖房消費電力	8.65 kW									
		最大低温暖房消費電力	11.5 kW									
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、 風向板、集中管理アダプター 他付属品一式									
		基礎	市販コンクリート架台+防振ゴム									
		ACP-2	ヒートポンプ式エアコン	形式	天井カセット形4方向吹出し：同時ツイン	3	200	5.70	0.106X2	0.292X2	1	設置場所：1階木工教室
				冷房能力	25.0 (11.3~28.0)kW							
暖房能力	28.0 (12.6~35.0)kW											
冷房消費電力	9.05 kW											
暖房消費電力	7.51 kW											
最大低温暖房消費電力	10.4 kW											
付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、 集中管理アダプター 他付属品一式											
基礎	室外機壁面架台											
	集中管理リモコン：タッチパネル、グループ制御・個別一括運転・停止・異常表示・温度設定			1	100						1	設置場所：職員室
	防護ネット											2
	風向板									2		

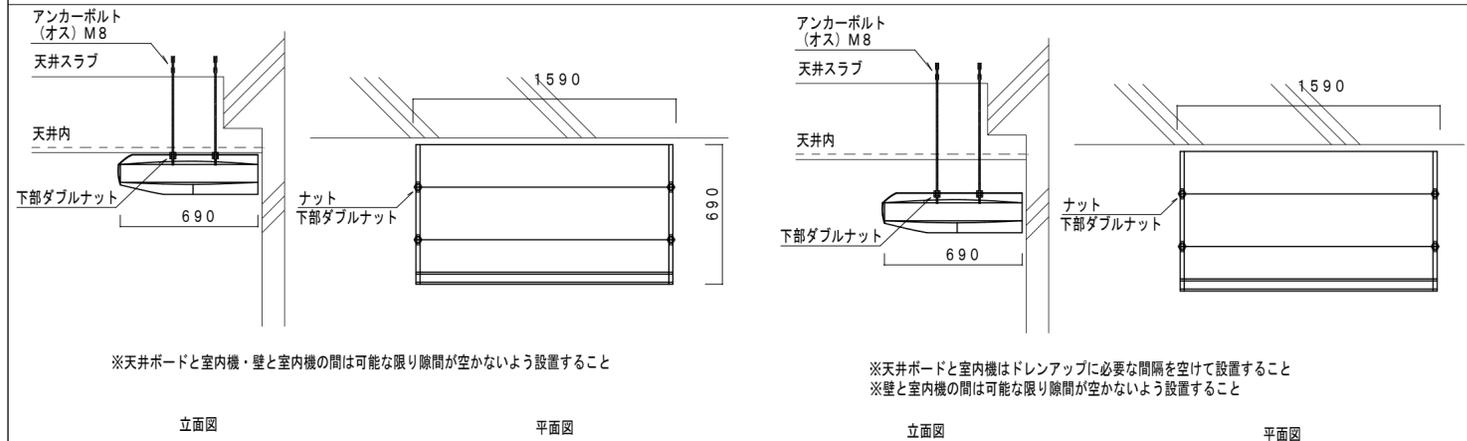
注記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。機器は同等品以上とする。
 空調機トップランナー基準改定仕様とする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。
 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。
 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。
 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。

室外機連絡線配線参考図

※1. 室内機、室外機に必要な連絡・制御配線はメーカー標準とする。
 ※2. 室外機渡りの露出中継ボックスはSUS製とする。



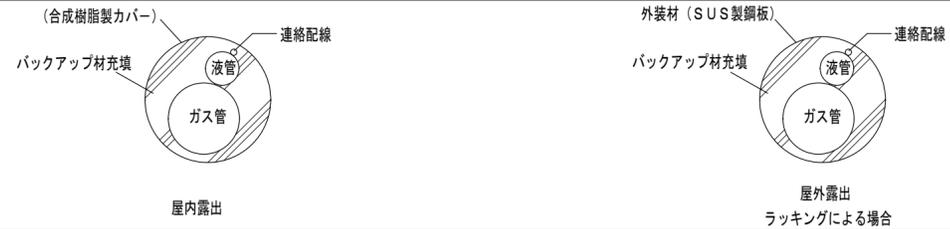
室内機取付詳細図



※天井ボードと室内機・壁と室内機の間は可能な限り隙間が空かないよう設置すること

※天井ボードと室内機はドレンアップに必要な間隔を空けて設置すること
 ※壁と室内機の間は可能な限り隙間が空かないよう設置すること

冷媒管保温要領

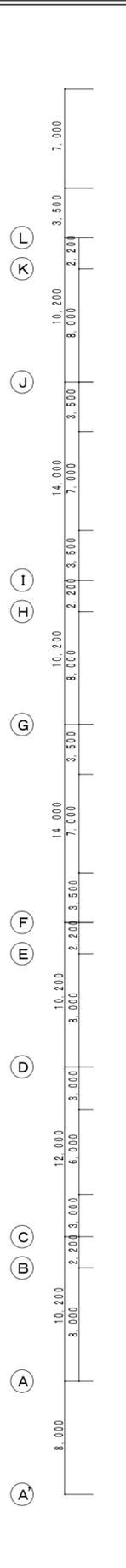
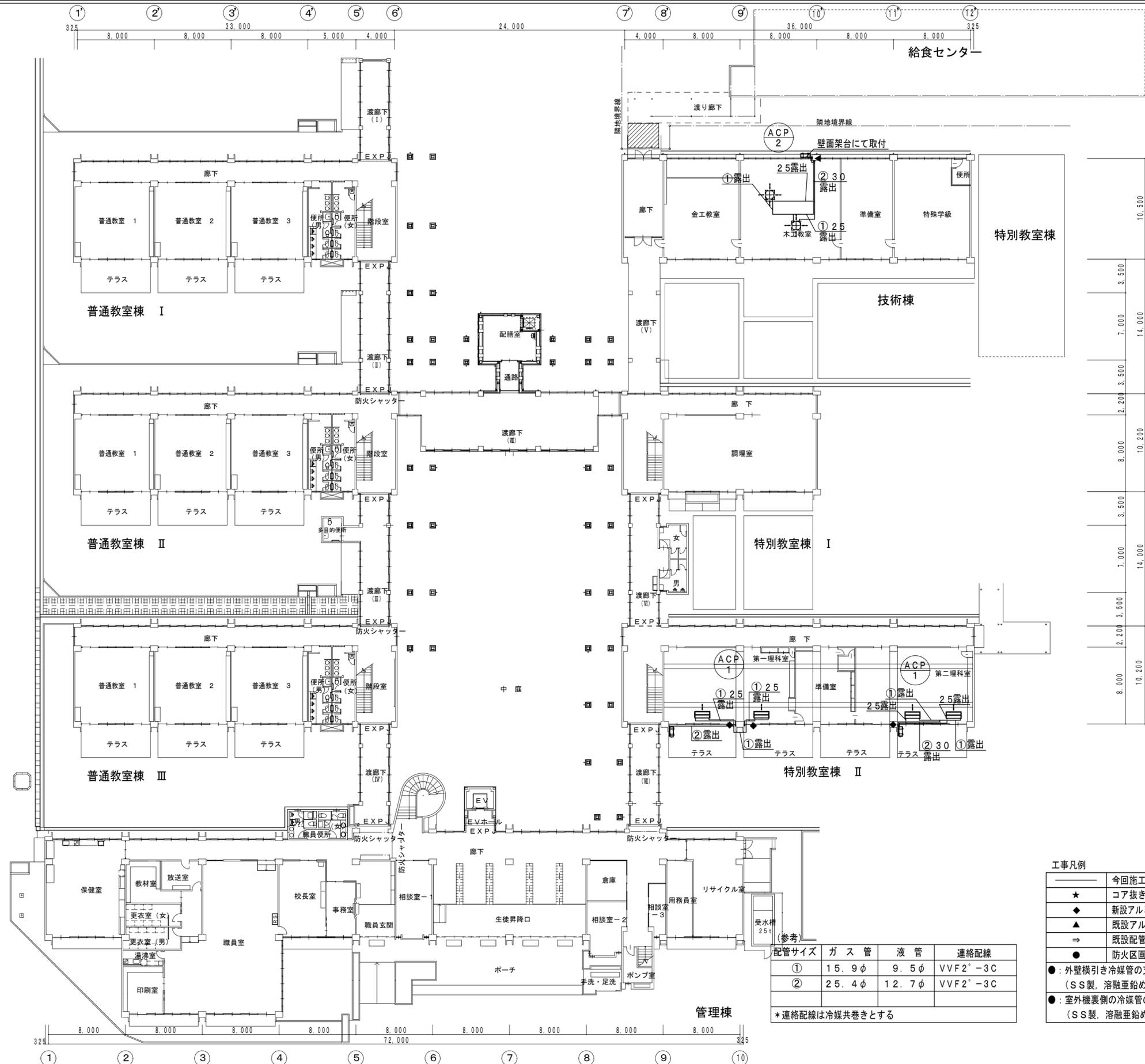


コア抜き参考図



津市立一志中学校

備考			設計代表者 一般建築士 No.24524 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	設計担当者 一般建築士 No.352551 田端 隆	SCALE A2 : N/S A3 : N/S DATE	工事名称 津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事	M-02 原図：A2	
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆					図面名称 空調設備 機器表		



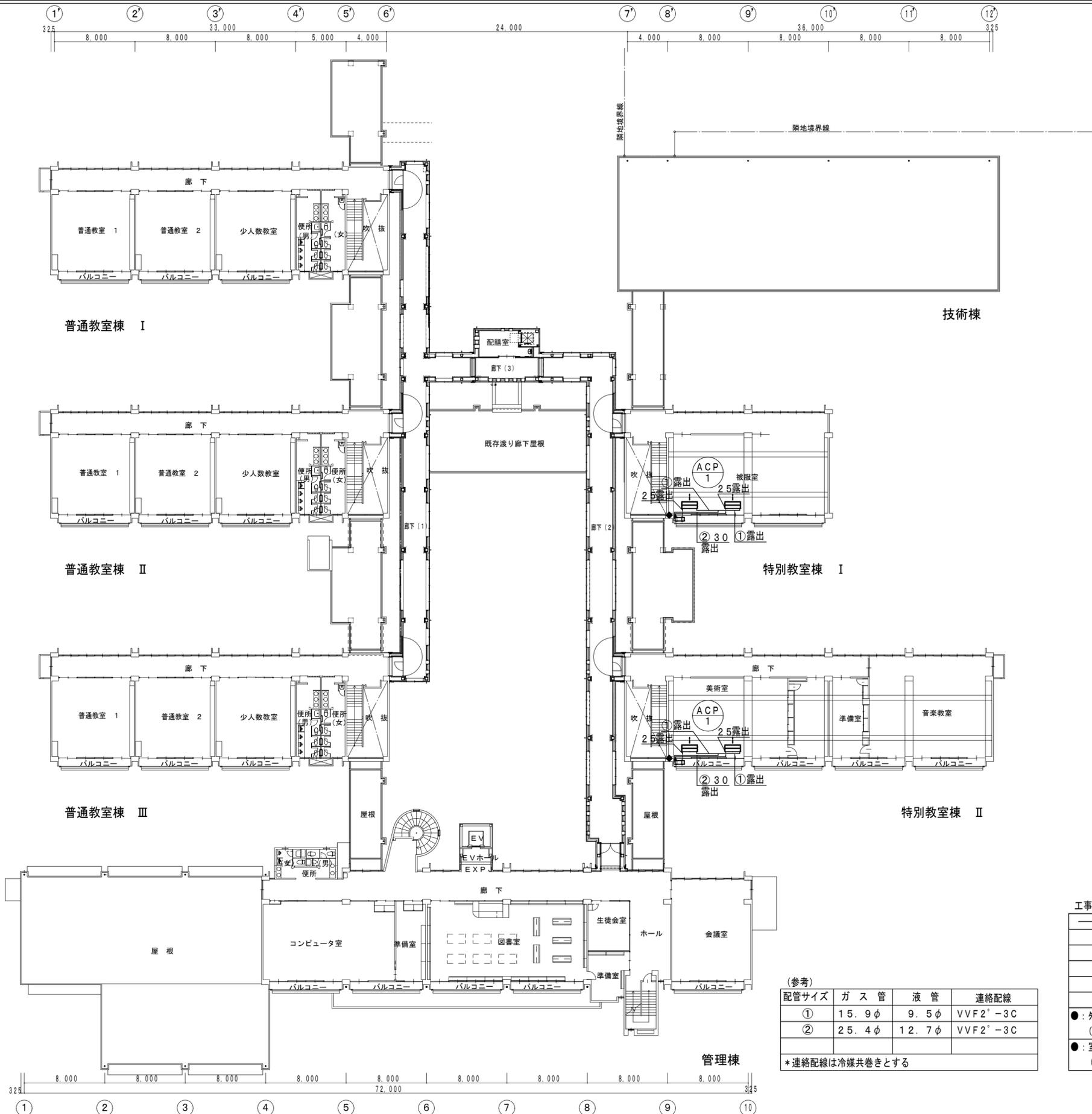
工事凡例

★	今回施工工事を示す
◆	コア抜き貫通箇所を示す(壁面・腰壁)
◆	新設アルミパネル貫通: 取替図は建具リスト参照
▲	既設アルミパネル貫通箇所を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
●	防火区画貫通処理: 認定品使用

●: 外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
 ●: 室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	VVF2'-3C
②	25.4φ	12.7φ	VVF2'-3C

* 連絡配線は冷媒共巻きとする



工事凡例

★	今回施工工事を示す
◆	コア抜き貫通箇所を示す(壁面・腰壁)
▲	新設アルミパネル貫通: 取替図は建具リスト参照
⇒	既設アルミパネル貫通箇所を示す
●	既設配管接続箇所を示す
●	防火区画貫通処理: 認定品使用
●	外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融垂鉛めっき仕上げ) とする。
●	室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融垂鉛めっき仕上げ) とする。

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	VVF2'-3C
②	25.4φ	12.7φ	VVF2'-3C

*連絡配線は冷媒共巻きとする

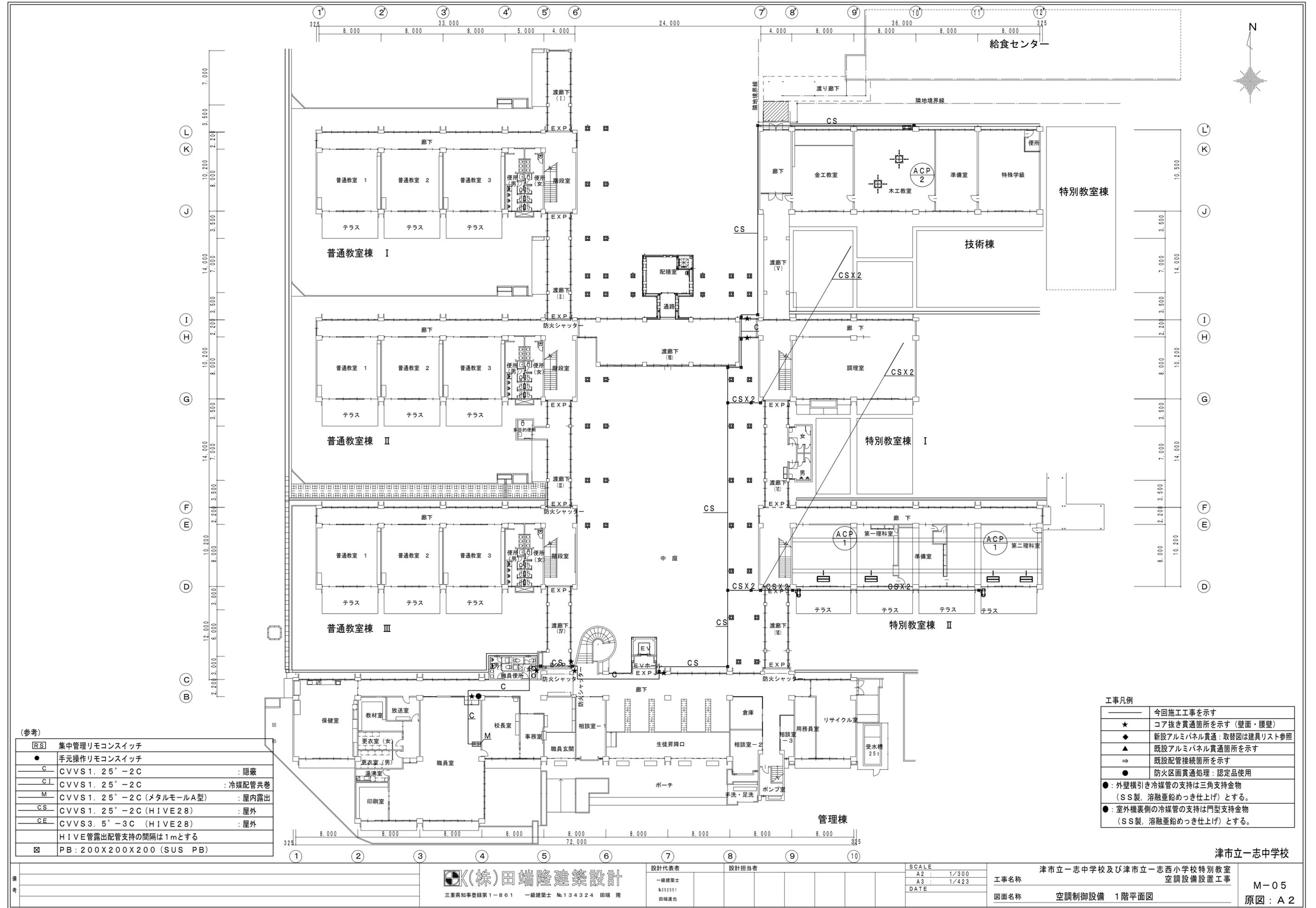
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者: 一級建築士 No.32551 田端 通也
 設計担当者: _____

SCALE
 A2: 1/300
 A3: 1/423
 DATE: _____

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室
 空調設備設置工事
 図面名称: 空調設備 2階平面図

M-04
 原図: A2



(参考)

[RS]	集中管理リモコンスイッチ	
●	手元操作リモコンスイッチ	
C	CVVS1. 25° -2C	: 隠蔽
CI	CVVS1. 25° -2C	: 冷媒配管共巻
M	CVVS1. 25° -2C (メタルモールA型)	: 屋内露出
CS	CVVS1. 25° -2C (HIVE28)	: 屋外
CE	CVVS3. 5° -3C (HIVE28)	: 屋外
	HIVE管露出配管支持の間隔は1mとする	
☒	PB: 200X200X200 (SUS PB)	

工事凡例

★	今回施工工事を示す
◆	コア抜き貫通箇所を示す (壁面・腰壁)
◆	新設アルミパネル貫通: 取替図は建具リスト参照
▲	既設アルミパネル貫通箇所を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
●	防火区画貫通処理: 認定品使用
●	外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
●	室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

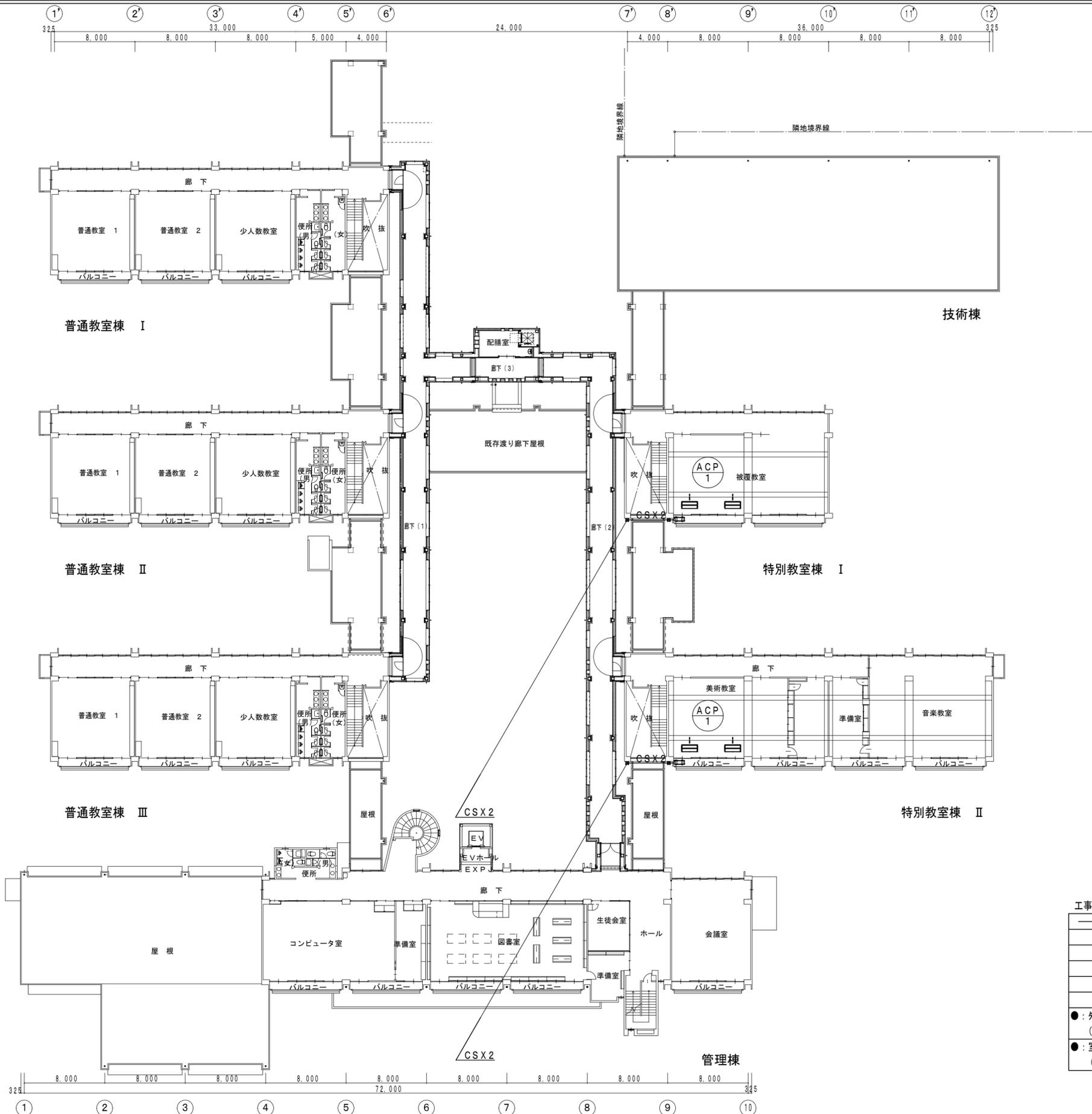
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.32551 田端 隆	

SCALE	
A2	: 1/300
A3	: 1/423
DATE	

工事名称	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称	空調制御設備 1階平面図

津市立一志中学校

M-05
原図: A2

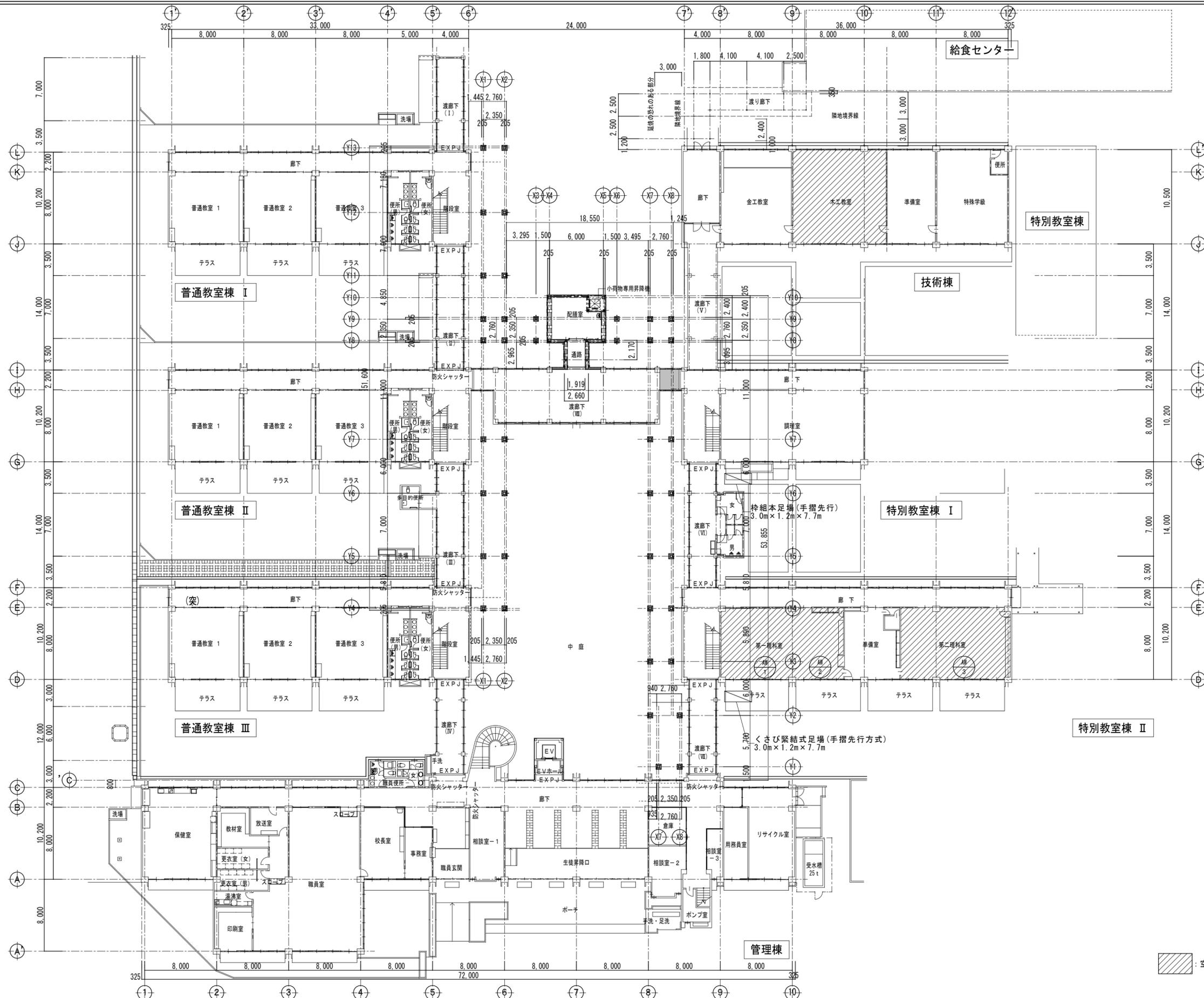


(参考)

[RS]	集中管理リモコンスイッチ	
●	手元操作リモコンスイッチ	
C	CVVS1. 25° -2C	: 隠蔽
CI	CVVS1. 25° -2C	: 冷媒配管共巻
M	CVVS1. 25° -2C (メタルモールA型)	: 屋内露出
CS	CVVS1. 25° -2C (HIVE28)	: 屋外
CE	CVVS3. 5° -3C (HIVE28)	: 屋外
	HIVE管露出配管支持の間隔は1mとする	
☒	PB: 200X200X200 (SUS PB)	

工事凡例

—	今回施工工事を示す
★	コア抜き貫通箇所を示す (壁面・腰壁)
◆	新設アルミパネル貫通: 取替図は建具リスト参照
▲	既設アルミパネル貫通箇所を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
●	防火区画貫通処理: 認定品使用
●	外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融垂鉛めっき仕上げ) とする。
●	室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融垂鉛めっき仕上げ) とする。



：空調設備設置教室

津市立一志中学校

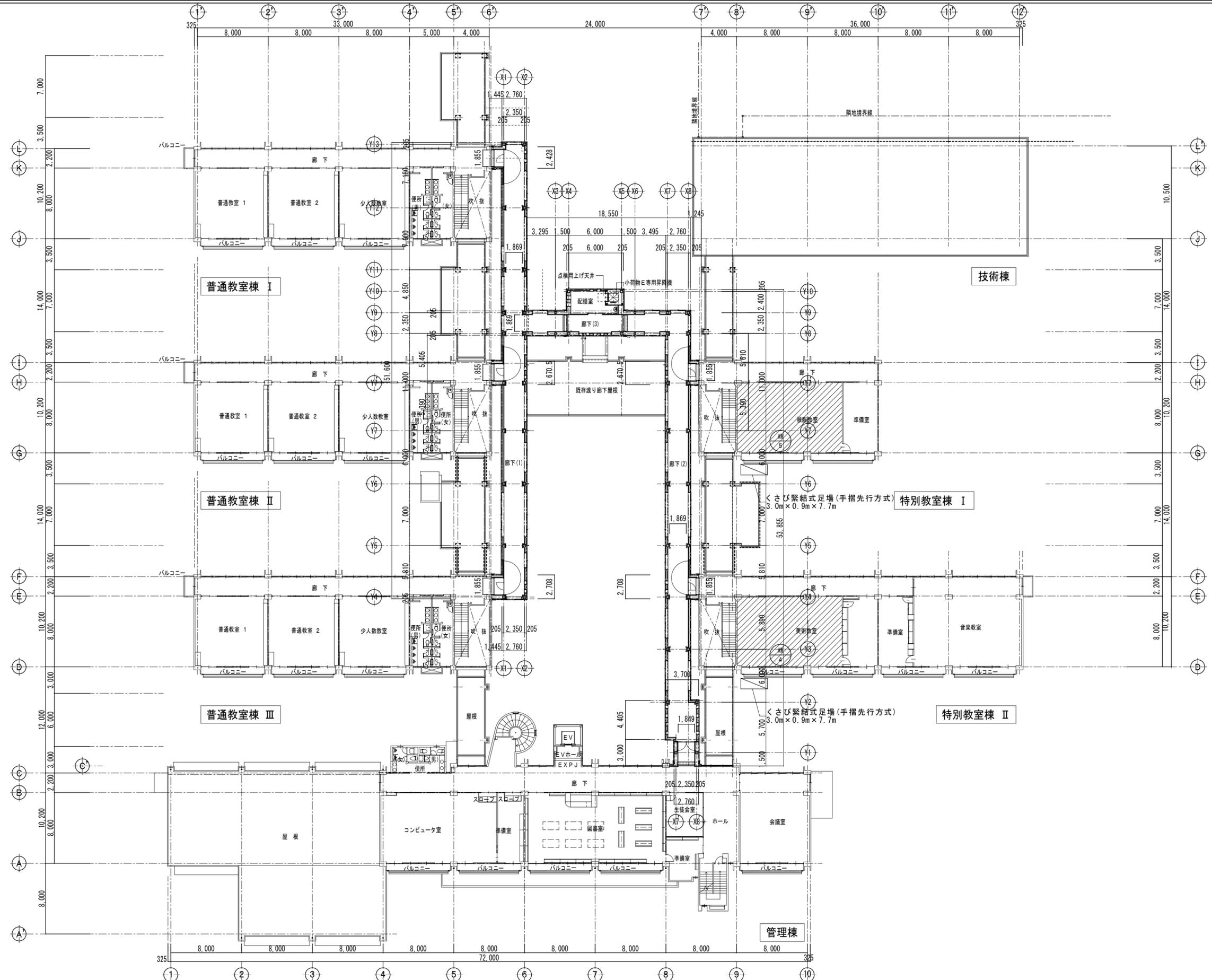
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者
 一級建築士 No.352551 田端進也
 設計担当者

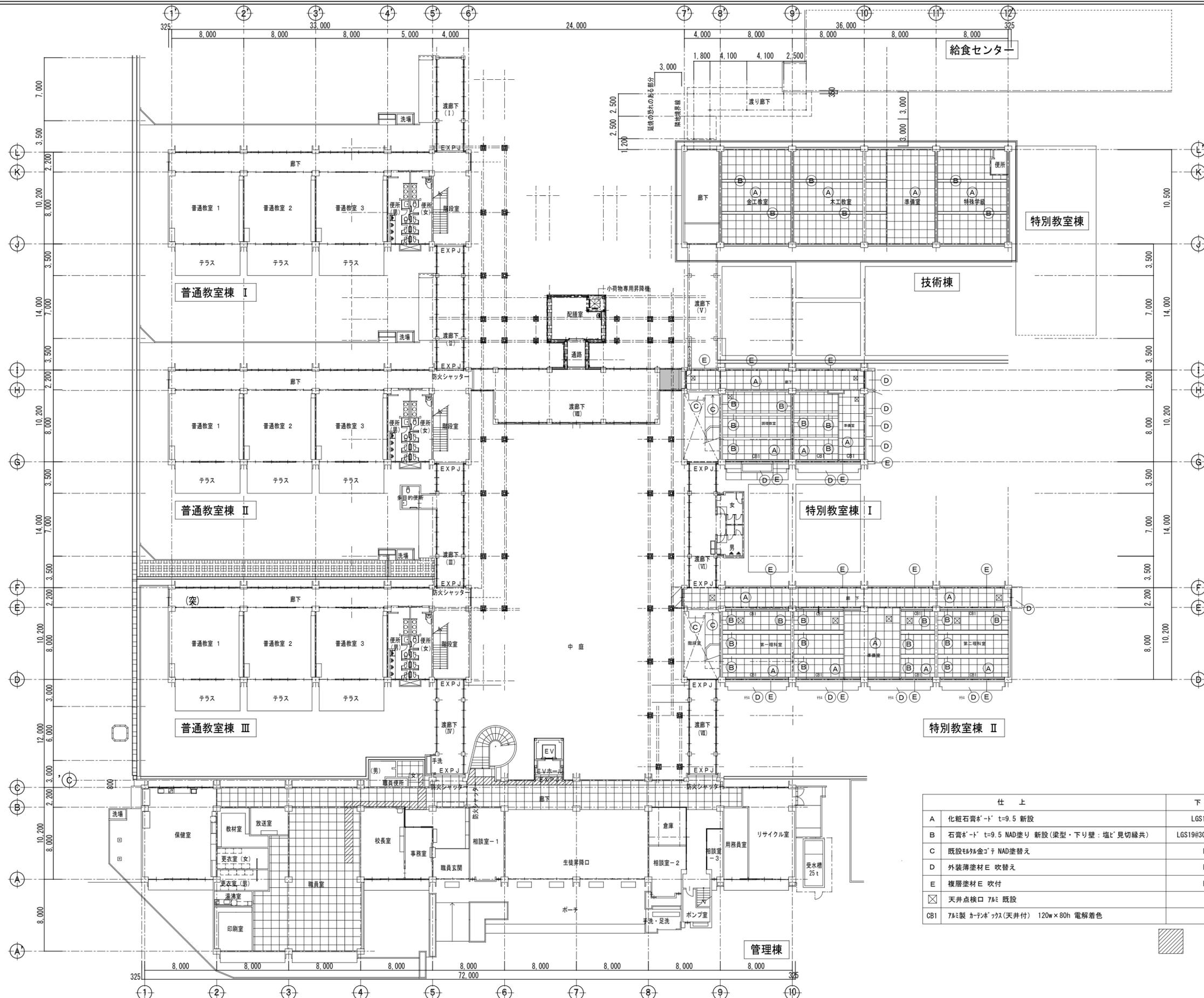
SCALE
 A2 : 1/300
 DATE

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室
 空調設備設置工事
 工事名称
 図面名称 1階 平面図

M-07
 原図：A2



備考	津市立一志中学校		津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室空調設備設置工事		M-08 原図：A2
	(株)田端隆建築設計		設計代表者	設計担当者	
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也		一級建築士 No.352551 田端 進也		
	SCALE	A2	1/300	DATE	
		図面名称 2階 平面図			



仕上	下地
A 化粧石膏ボード t=9.5 新設	LGS19@300
B 石膏ボード t=9.5 NAD塗り 新設(梁型・下り壁: 塩ビ見切縁共)	LGS19@300 (LGS19)
C 既設石膏ボード NAD塗替え	RC
D 外装薄塗材 E 吹替え	RC
E 複層塗材 E 吹付	RC
☒ 天井点検口 7# 既設	
CB1 7#製 カテナック(天井付) 120w×80h 電解着色	

天井脱着範囲

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

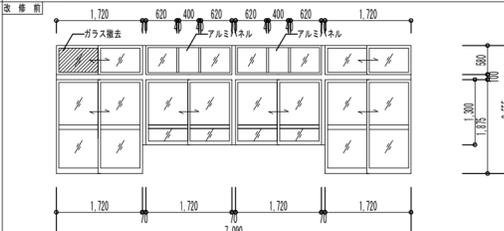
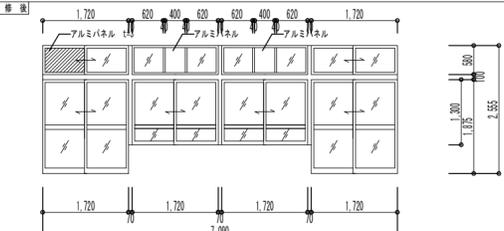
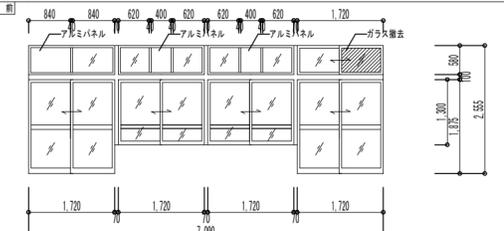
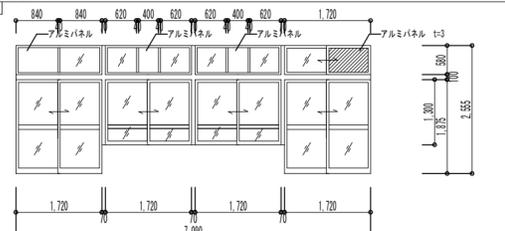
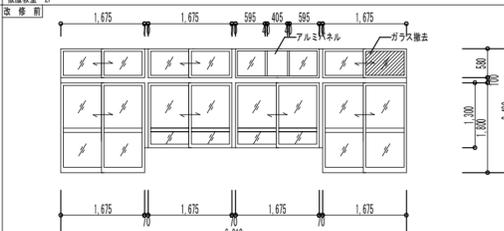
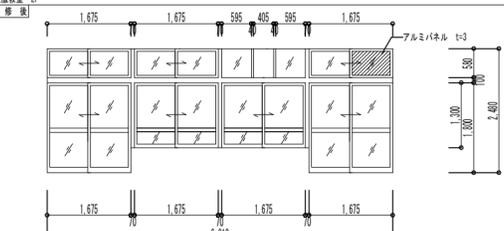
設計代表者 一級建築士 No.352551 田端進也
 設計担当者

SCALE
 A2 : 1/300
 DATE

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室
 工事名称 空調設備設置工事
 図面名称 1階 天井伏図

M-09
 原図: A2

津市立一志中学校

符号・数量 使用箇所 改修前 	第一種教室 1F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修後 	第一種教室 1F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修前 	第一種教室・準備室 1F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修後 	第一種教室・準備室 1F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修前 	第二種教室 2F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修後 	第二種教室 2F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修前 	養育教室 2F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
符号・数量 使用箇所 改修後 	養育教室 2F	1箇所	見込 仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	材質	アルミ 2段 4連 引違い ガラス戸	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	ガラス	強化 4mm 型紙強化 4mm アルミパネル 3mm	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	金物	加付、水切り、付属金物一式	仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板
	備考		仕上	7,090×2,555	70mm	無着色陽極酸化塗装複合板

20. 配線器具の設置	(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電線の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場合が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、面に特記なき場合は、新金属製とする。 (5) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装した位置ボックスには用途を示すこと。 (6) フロアプレートは、水平低調整型(空転防止リング付)とする。
21. 照明器具の設置	(1) コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。(乾燥した場所のコンパクト器具(27W以下)を除く。) (2) 接地線は電灯配線と同太さのケーブルの1芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁線(緑線)を添えることもできる。 (3) 照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4) 照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形AA級とする。 (5) 天井下材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6) ハイバ吊りの照明器具は撤止めを施工する。
22. 照明改修の際の測定	対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所() 測定回数() 回
23. 分電盤、制御盤、キュービクル等	(1) 四面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2) 屋外キュービクルで露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法をとする。ただし、接続ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。
24. 受電設備、発電設備の設置場所	(1) 保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2) 基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3) 電気室には水管、高気圧、ガス管、ダクト等を通過させない。
25. 発電設備の燃料配管	(1) フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に可燃物と十分に打合せを行う。 (2) 配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。
26. 電圧関係の計算及び測定	(1) 計算書の提出 電圧強度測定結果による計算書を提出 ・施工前 ・躯体上がり時 ・その他() (2) 測定の実施 1) 項目 全電圧チャンネルの電圧強度、受電側電圧、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 2) 測定時期 ・施工前 ・躯体上がり時 ・施工後 ・その他() 3) 報告書提出回数 ・2部 ・()部
27. 土工	(1) 埋戻しの材料及び工法 ・仕様(材料:根切り土中の良質土/工法:機器による締め固め) ・その他() (2) 特記なき地中埋戻材の深さは、φ100mm以上とする。 (3) 根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受電設備及び自家発電設備の基礎等は総掘り、埋設管路等は布張り、外灯基礎、電柱等は土質により、原則として接地を施すこと。 (4) 機械掘削は根切り底を乱さないようにする。
28. ハンドホール、マンホール	1) 地中線路及びハンドホール等次下が考慮される場合は、次下対策を施す。 2) 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力度とする。 ① 地耐力は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じて衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものについては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。
29. 地中配線路の表示状況	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び送出口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中線路の曲折箇所 ④ 道路橋跨箇所 ⑤ 直線部分又は30m程度に1個

3. 機器仕様	下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。なお、詳細については、本項によらず別図による。
項目	特記事項
【電力設備】	
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り合い ・無し ・壁改造 ・配線接続 ・電源供給 ・その他()
(2) 機器類	・一般照明器具 ・照明制御装置 ・外灯(単独設置) ・コンセント等 ・分電盤、制御盤等 ・その他()
(3) 一般照明器具	1) 形式 ・公共型 ・一般型 ・HID灯 ・その他() 2) 灯具 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 ・その他() 3) 用途 ・屋内用 ・屋外用 ・防災用 4) 環境 ・普通地域 ・塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管にグローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する下面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ・明るさセンサ ・人感センサ ・タイマ ・調光スイッチ ・その他() 2) 開光方式 ・連続開光 ・段階調光 ・ON/OFF制御 ・その他()
(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ・アルミニウム製 ・鋼製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他() 2) 配線用遮断器又はカットアウトスイッチ手回型とする。 3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウム灯 ・Hf蛍光灯 ・LED灯 4) 安定器 ・一般高力車形(BH) ・低効電流形 ・その他() 5) 電源 ・商用電源(60Hz)(・200V・100V) ・単独電源(・太陽電池式 ・風車式) ・その他(点灯時間()時間、不日保証日数()日) 6) 制御 ・E/Eスイッチ ・タイマ ・その他() 7) 接地 ・単独接地(・本工事 ・別途工事 ・既設利用) ・共用 ・その他()
(6) コンセント等	・一般型 ・防水型 ・ハイテンションアウトレット(・固定型 ・上下動型(アプツを含む))
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 四面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地用銅線は最終のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計(定格電流指示)とする。
2. 動力設備	(1) 既設との取り合い ・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他() (2) 機器類 ・分電盤、制御盤等 ・その他() (3) 負荷設備 ・給水 ・排水 ・消火 ●空調 ・換気 ・排煙 ・昇降機 (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ・専用接地 ・金属管接地(7.5kW以下) (6) 電動機等の力率の改善 本工事を含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 四面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地用銅線は最終のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針計(定格電流指示)とする。
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ・尖針 ・棒上導体 ・芯木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 ・測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 ② 測定回数 ・3回 ・()回 5) 接地極埋設を施工する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ・設置(・単相用 ・動力用) ・設置しない 2) SPD ・低圧用(・クラスI ・クラスII) ・通信用(・カテゴリC2 ・カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による (3) 電源回路の保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報接点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場合は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。
4. 接地設備	(1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用あり() (2) 接地抵抗の測定 1) 測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 測定回数 ・3回 ・()回 (3) 接地極埋設 接地地には接地極埋設を施工し、接地極の位置がわかるようにする。
【受電設備】	
5. 受電設備	受電設備については、本項によらず別図による。 (1) 既設との取り合い ・無し ・改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他() (2) 機器類 ・盤類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列リアクトル ・配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他() (3) 盤類 1) 形式 ・キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425)(・CX ・CW ・PW ・MW) ・開放形配電盤 ・その他() 2) 中送路 ・有 ・無 3) 特記事項 ・有 ・無 (4) 交流遮断器 真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ・手動ばね操作 ・電動ばね操作 ・電磁操作 ② 引外し方式 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直流電圧引外し

(5) 新路器	1) 形式 ・3極単投 ・単極単投(選定範囲に限る) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック操作(選定範囲に限る)
(6) 負荷開閉器	1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ・フック操作 ・遠方手動操作 ・電動操作 ② 限流ヒューズ ・有(ストライカ付) ・無 ③ 引外し装置 ・ストライカ引外し ・電圧引外し ・無 ④ 保護装置 ・過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑤ 遮断器 ・内蔵 ・無 3) 地中引込用 保護装置は、過電流警報トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
(7) 変圧器	1) 形式 ・油入 ・モールド 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイアル温度計 ・有(・最大値指針 ・有 ・最大値指針 ・無) 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合必須とする
(8) 進相コンデンサ	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を併用又は内蔵すること
(9) 直列リアクトル(進相コンデンサ用)	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること
(10) 設備不平衡	高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平衡率が3%以下となるようにする。
(11) キュービクル等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事情)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 四面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地端子又は接地用銅線は最終のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
(12) 基礎	・本工事(・21N/mm ² ・18N/mm ²) ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
(13) 配線ピット及び蓋	1) 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事で行うこと。
(14) 設置場所	・屋内 ・屋外(・地上 ・屋上)
【電力貯蔵設備】	
6. 直流電源設備	(1) 用途 ・非常用照明器具電源 ・受電設備制御電源 ・その他() (2) 容量 ()kVA (3) 出力電圧 ・直流(・12V ・24V ・48V ・()V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等に消費される電流を考慮して選定する。
(4) 蓄電池	1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃
7. 交流無停電電源設備	(1) 用途 () (2) 容量 ()kVA (3) 給電方式 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタラクティブ方式 ・常時商用給電方式 ・その他() (4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 (5) 蓄電池 1) 種類 ・鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ・アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ・その他() 2) 最低蓄電池温度 ・5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ (6) 性能 停電復帰時間 ()
8. 電力平準化用蓄電設備	(1) 用途 () (2) 機能 ・ピークシフト機能 ・ピークカット機能 ・商用停電時のバックアップ機能 (3) 蓄電池 1) 種類 ・リチウム二次電池 ・鉛蓄電池 ・ニッケル水素蓄電池 2) 容量 () 3) 期待寿命 () 4) 充放電回数 () 5) 放電時間 () 6) 種別 ・製造者標準 ・その他() (4) 性能 1) 交流入出力電圧方式 ・三相3線式(・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V) 2) 自立運転 ・する ・しない 3) 系統連系 ・する ・しない (5) 計測表示 遠方監視用接点 ・設けない ・設ける(詳細は別図による) (6) 状態・警報表示 移相用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。
9. 分散電源	仕様詳細は別図による。
【発電設備】	
10. 燃料発電設備	(1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用 (2) 区分 ・常用 ・非常用 (3) 設置場所 ・屋内 ・屋外(・普通地域 ・塩害地域) (4) 機器 ・発電装置 ・燃料槽 ・給油ボックス ・燃料移送ポンプ ・その他() (5) 発電機 1) 種類 ・ディーゼル発電装置 ・ガスエンジン発電装置 ・ガスタービン発電装置 2) 形式 ・箱型 ・オープン式 ・キュービクル式(・85dB(A)/m ・75dB(A)/m) 3) 始動時間(停電後) ・10秒以内 ・40秒以内 ・()秒以内 4) 連続運転時間 ・2時間以上 ・10時間以上 ・24時間以上 ・() ・72時間以上 ・その他() 5) 発電機 ① 電気方式 ・三相3線式(・6.6kV ・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V) 60Hz ② 定格周波数 ()kVA ③ 定格出力 ()kW以上 ()ps以上 ④ 冷却方式 ・ラジエーター方式 ・冷却水循環式 ・その他() (6) 燃料 1) 種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油 ・その他() 2) 引渡時燃料 ・減タン ・指定なし ・その他() (7) 燃料槽 1) 形式及び容量 ・バックアップ搭載タンク()リットル ・リットル ・主燃料槽()リットル ・燃料小出槽 ・屋外型(・ステンレス製 ・鋼製) ・屋内型(・ステンレス製 ・鋼製) 3) 主燃料槽 ① 設置場所 ・屋内 ・屋外(地上) ・地下埋設(・タンク室内埋設 ・直埋設) ② 形式 ・二重殻タンク ・一重殻タンク ③ 設置工事 ・その他() ④ タンク室工事 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() (8) 給油ボックス 1) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・その他() 2) 油量指示計 ・有 ・無 (9) 燃料移送ポンプ 1) 電動ポンプ ・歯車ポンプ ・油中ポンプ 2) 手動ポンプ(ウイングポンプ) ・有 ・無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ・有 ・無 (10) 基礎 ・本工事(・21N/mm ² ・18N/mm ²) ・別途工事 ・既設利用 ・その他()

11. 太陽光発電設備	(1) 機器 ・太陽電池アレイ ・パワーコンディショナ ・系統連系保護装置 ・接続箱 ・情報処理装置 ・その他() (2) 太陽電池アレイ 1) 発電電力 公称出力()kW 2) 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。 (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 1) 出力電気方式 ・三相3線式(・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V) 2) 定格周波数 60Hz 5) 機能 ・系統連系(・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系) ・その他() 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。
(4) 情報処理装置	1) 装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・気温計 ・日射計 ・その他() 2) 記録作成 ・日報 ・月報 ・年報 ・その他() 仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。
(5) 仕様詳細	仕様詳細は「太陽光発電設備特記仕様書」による。
12. 風車発電設備	(1) 機器 ・風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他() 発電能力 定格出力()kW (2) 風車発電装置 1) 出力電気方式 ・三相3線式(・200V ・()V) ・単相3線式(200/100V) ・単相2線式(・200V ・100V ・()V) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他() 4) 設置方式 ・壁掛型 ・自立型 ・その他() 5) 機能 ・系統連系(・高圧連系 ・みなし低圧連系 ・低圧連系) ・自立型 ・その他() 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。自主、積載荷重、積雪、振動、衝撃等に対し、安全が確保されたものとする。
(4) 支持構造物	(5) 情報処理装置 1) 装置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・風速計 ・風向計 ・気温計 ・その他() 2) 記録作成 ・日報 ・月報 ・年報 ・その他() 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。
(6) 仕様詳細	仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。
13. その他発電設備	()の仕様詳細は別図による。
【通信・情報設備】	
14. 屋内情報通信設備	(1) インターフェース 1) LAN ・1000BASE-T ・無線LAN() ・その他() 2) WAN () (2) 機器 ・スイッチ ・ルータ ・メディアコンバータ ・ファイアウォール ・時刻同期装置 ・ネットワーク管理装置 ・機器収納ラック ・アウトレット ・その他() 各機器の仕様詳細は別図による。 (3) ケーブル 1) 幹線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他() 2) 支線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他() 3) フロア系 ・UTP ・その他() (4) アウトレット ・ローテンションアウトレット(・固定型 ・上下動型(アプツを含む)) ・壁コンセント ・その他()
15. 屋内交換設備	(1) 機器 ・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット ・その他() (2) 交換装置 1) 種別 ・横内交換装置(・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ ・その他() ・ボタン電話装置 ・その他() 2) 局線応答方式 ・局線中継台方式 ・分岐中継台方式 ・ダイヤルイン方式 ・ダイレクトインダイヤル方式 ・ダイレクトインライン方式 ・その他() 3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 4) 本配電盤(MDF) ・自立フレーム(・片面形 ・両面形) ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他() 5) 電源装置 ① 形式 ・別置型 ・一体形 ・その他() ② 停電復帰時間 ・30分以上 ・()以上
(3) 電話機	・一般電話機 ・多機能電話機 ・IP電話機 ・デジタルコードレス電話機(PHS方式) ・IPコードレス電話機(無線LAN方式) ・その他()
(4) 端子盤類	1) 端子盤 ・中継端子盤(IDF) ・室内端子盤 2) 中継端子盤には架装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。
(5) アウトレット	・ローテンションアウトレット(・固定型 ・上下動型(アプツを含む)) ●壁コンセント ・その他()
16. 情報表示設備	(1) 設備 ・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 (2) マルチサイン装置 1) 機器 ・操作制御部 ・情報表示部 ・その他() 2) 通信方式 ・TCP/IP ・その他() 3) 操作制御部 ・イメージスキャナ ・有 ・無 4) 情報表示部 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他() (3) 出退表示装置 1) 機器 ・制御装置 ・出退表示部 ・その他() 2) 出退表示部 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他() (4) 時刻表示装置 1) 機器 ・報時計 ・子時計 ・電源装置 ・単独時計 ・その他() 2) 報時計 ① 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・ラックマウント型(ラック架組込) ② 時刻補正機能 ・FM放送受信 ・アンテナ設置 ・既設利用 ・長波標準電波受信 ・アンテナ設置 ・既設利用 ③ 回線数 ()回線 ④ 機能 ・電子チャイム()曲 ・時報 ・プログラムタイマ(引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと。) 3) 子時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他() ③ 時間 ()時間 4) 電源装置 運転可能時間(・10時間 ・()時間) 5) 単独時計 ① 方式 ・アナログ式 ・デジタル式 ② 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・無 ③ 時刻補正機能 ・有 ・無 (5) 警報等表示装置 1) 機器 ・表示盤 ・検出装置 ・その他() 2) 表示盤 ① 表示方式 ・表示窓式 ・その他() ② 施工 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 3) 検出装置 ① 検出方式 ・電磁 ・無電圧接点 ・その他() ② 本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室空調設備設置工事		概尺
図面名称	電気設備 特記仕様書(2)	原図: A2
津市建設部営繕課		No. ETK-02

17. 映像・音響設備	
(1)設備	・映像機器 ・音響機器 ・操作装置
(2)映像機器	1) 表示機器 ・プロジェクタ(・前面投射式 ・背面投射式) ・スクリーン(・反射マトリクス形 ・反射ビーズ形 ・反射ストライプ形 ・透透形) ・その他() ・スクリーン巻上装置(・電動式 ・手動式) ・液晶ディスプレイ
	2) 付属機器 ・録音再生装置(・HDD ・Blu-ray/DVD ・その他()) ・テレビチューナー(・UHF ・BS ・CS ・その他()) ・カメラ ・パソコン ・その他()
(3)音響機器	1) 増幅器 ① 出力 () W ② 方式 (ステレオ ・モノラル) ・その他() ③ 出力インピーダンス (Lo形 ・Hi形) 2) 付属機器 ・グラフィックイコライザー ・オーディオミキサー ・電源制御器 ・録音再生装置(・CD ・メモリアーディオ ・その他()) ・ラジオチューナー(・FM ・AM ・その他()) ・有線マイクホン ・無線マイクホン(・電波式(・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・その他()
	3) スピーカ ・天井分散配置方式 ・集中配置方式 ・併用方式 ・その他()
(4)操作装置	1) 形状 ・卓型 ・キャビネットラック型 ・その他() 2) 設置 ・固定式 ・可動式 ・その他()
18. 拡声設備	
(1)機器	・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他()
(2)増幅器	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) ・専用 出力 () W 出力インピーダンス (Lo形 ・Hi形)
(3)付属機器	・オーディオミキサー ・リモンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置(・CD ・メモリアーディオ ・その他()) ・アナウンスレコーダ(・チャイム ・独自メッセージ ・プログラムタイム) ・その他() ・有線マイクホン ・無線マイクホン(・電波式(・アナログ ・デジタル) ・赤外線式) ・ラジオチューナー(・FM ・AM ・その他()) ・スピーカー切替装置 ・その他()
(4)操作装置	・卓型 ・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他()
(5)スピーカ	・非常放送兼用(仕様は非常放送装置を参照) ・専用 結線 ・1W ・3W ・() W インピーダンス (Lo形 ・Hi形) ・設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他()
19. 誘導支援設備	
(1)設備	・音声誘導装置 ・インターホン ・トイレ等呼出装置
(2)音声誘導装置	1) 換出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他() 2) 設置場所 ・壁外(防雨形) ・屋内 3) 機能 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする 4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他() 5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他() 6) 送信機 ・壁掛型 ・卓上型 ・埋込形 ・その他() 7) 受信機 ・スピーカー方式 ・イヤホン式 ・その他()
(3)インターホン	1) 用途 ・内部受付用 ・外部受付用 ・夜間訪問用 ・身体障害者用 ・保守用 2) 機能 ・音声通話 ・映像モニタ 3) 通話網 ・親子式 ・相互式 ・複合式 4) 通話方式 ・同時通話式 ・交互通話式 ・その他() 5) 増幅器 ・親機 ・子機 ・その他() 6) 親機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合壁懸込 ・その他() ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他() 7) 子機 ①形状 ・壁掛型 ・卓上形 ・埋込形 ・その他() ②送受話器 ・電話機形 ・マイク形 ・その他()
(4)トイレ等呼出装置	1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他() 3) 親機 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合壁懸込 ・その他() 4) 呼出スイッチ ・押ボタン式 ・引紐式 ・その他() 5) 警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他()
20. テレビ共同受信設備	
(1)受信放送	・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他()
(2)機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他()
(3)アンテナ	1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他() 2) マスト ・地上波用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()) ・衛星用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()) 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
21. テレビ電波障害防除設備	
(1)対象戸数	() 戸
(2)機器	・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・ヘッドエンド装置 ・その他()
(3)アンテナ	1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他() 2) マスト ・地上波用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()) ・衛星用(・壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他()) 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
22. 監視カメラ設備	
(1)機器	・カメラ ・モニタ装置 ・録画装置 ・ハウジング ・放熱装置 ・その他()
(2)伝送方式	・アナログ伝送方式 ・ネットワーク伝送方式 ・その他()
(3)カメラ	1) 色方式 ・白黒 ・カラー 2) 駆動方式 ・固定式 ・遠隔可動式 3) 撮影条件 ・昼間 ・夜間 4) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他()
(4)モニタ装置	1) 色方式 ・白黒 ・カラー 2) モニタ ・液晶 ・PC ・その他() 3) 設置 ・自立型 ・卓上型 ・壁掛型 ・その他()
(5)録画装置	1) 記憶媒体 デジタル記憶媒体とする。 2) 記憶容量 () 3) 時刻補正機能 ・FM放送受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・長距離電波受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・その他()

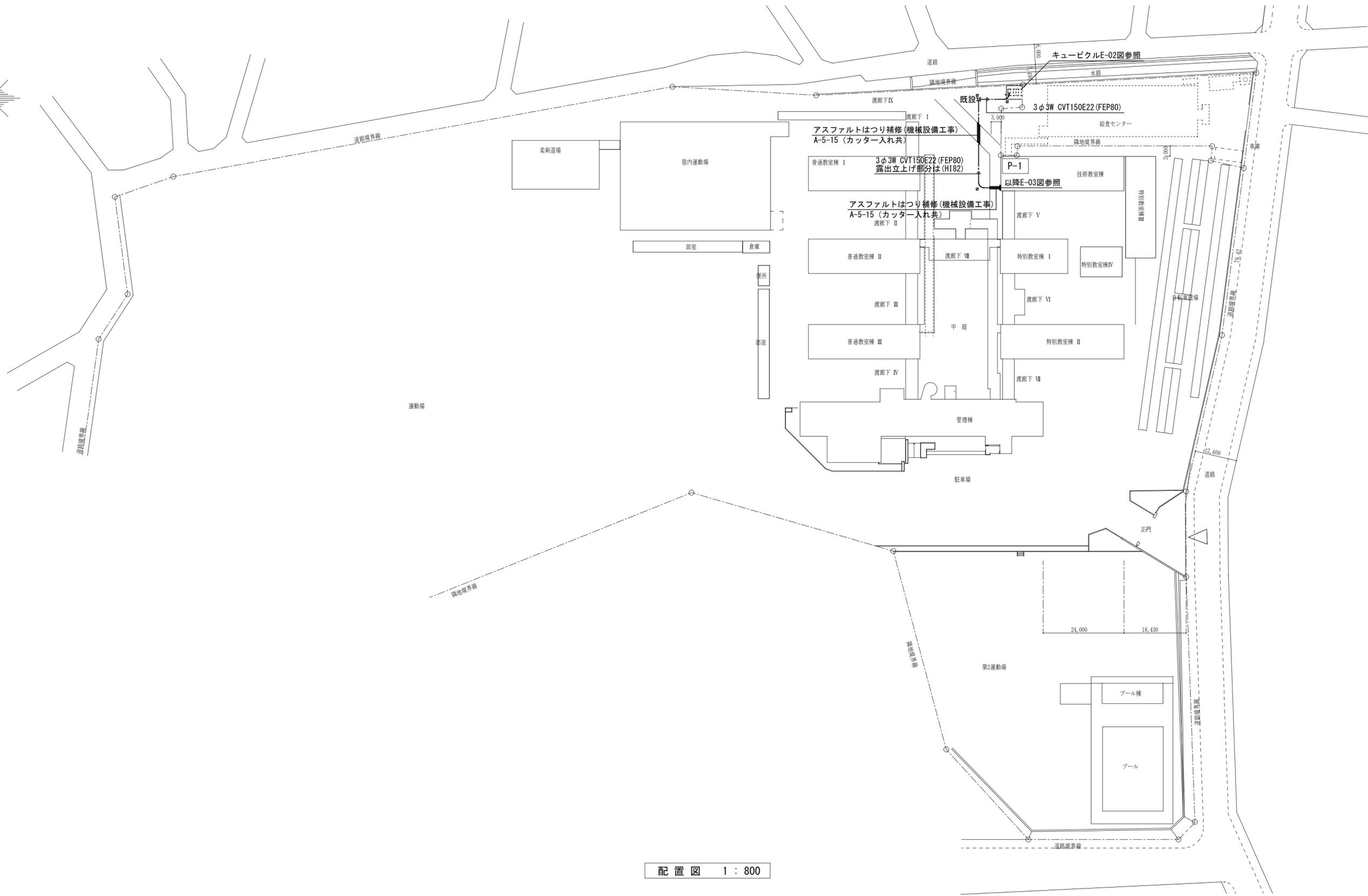
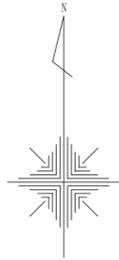
23. 駐車場管理設備	
(1)機器	・管制盤 ・検知器 ・信号灯 ・警報灯 ・発券機 ・カーゲート ・カードリーダー ・その他()
(2)管制盤	1) 機能 ・入場管理 ・退場管理 ・発券管理 ・その他() 2) 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他()
(3)検知器	1) 方式 ・赤外線式 ・超音波センサ式 ・ループコイル式 ・その他() 2) 検知器外径 ・ステンレス製 3) 検出対象車両 四輪駆動自動車以上 4) 検出対象速度 ・2～40km/h ・その他()
(4)信号灯・警報灯	1) 方式 ・発光ダイオード式 ・その他() 2) 警報音 ・音声 ・ブザー ・その他() 3) 外形 ・ステンレス製 ・鋼製
(5)発券機	1) 発行券 ・磁気式 ・ICカード式 ・その他() 2) 発券方式 ・入場時発行 ・事前発行 ・その他()
(6)カーゲート	・バー式(・グラスファイバー製 ・アルミ製 ・鋼製(防錆処理)) ・その他()
24. 防犯・入退室管理設備	
(1)設備	・防犯装置 ・入退室管理装置
(2)防犯装置	1) 機器 ・センサ ・制御装置 ・その他() 2) センサ ・パッシブセンサ ・赤外線センサ ・画像センサ ・マグネットセンサ 3) 制御装置 ① 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他() ② 時刻補正機能 ・FM放送受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・長距離電波受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・その他() 4) 機能 ・警報 ・記録 ・監視カメラ運動制御 ・センサ入切制御 ・その他()
(3)入退室管理装置	1) 機器 ・制御装置 ・認識部 ・電気錠(・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用) ・セキュリティゲート ・その他() 2) 制御装置 ① 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他() ② 時刻補正機能 ・FM放送受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・長距離電波受信(・アンテナ設置 ・既設利用) ・その他() ③ 基本機能 施錠制御・許可・不許可設定・設定データバックアップ機能・こじ開け警報の搭載は必須とする。 ④ 特記機能 施錠解除制御 ・スケジュール設定制御 ・記録機能 ・照明空調制御 ・防災防犯インテグレーション機能 ・その他() 3) 認識部 ・バイオメトリクス() ・暗証番号 ・磁気カード ・ICカード ・その他() 4) セキュリティゲート 仕様詳細は別図による。
25. 自動火災報知設備	
(1)機器	・受信機 ・副受信機(表示装置) ・中継器 ・発信機 ・感知器 ・その他()
(2)受信機	1) 型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型 2) 回線数 () 回線 () アドレス 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 備形式 ・複合壁懸込 ・自立型 ・壁掛型 ・その他()
(3)副受信機(表示装置)	1) 器形式 ・自立型 ・壁掛型 ・その他() 2) 回線数 () 回線 () アドレス 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。
(4)中継器	試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能
(5)発信機	1) 型式 ・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を併記する。 3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス(別途)に組込 ・その他()
(6)感知器	1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 煙感知器 ・温度感知器 ・炎感知器 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 設置場所 ・屋内(・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他()) ・屋外(・防水 ・その他())
26. 自動閉鎖設備	
(1)機器	・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動閉鎖装置 ・その他()
(2)運動制御器	1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排煙ダンパー ・非常口等の扉 2) 回線数 () 回線(遠方復帰機構() 回路) 3) 設置 ・単独 ・壁掛形 ・自立形 ・火災受信機等との複合壁
(3)感知器	1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 煙感知器(・2線 ・3線) 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 設置場所 ・屋内(・一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他()) ・屋外(・防水 ・その他())
(4)自動閉鎖装置	1) 方式 ・電磁式 ・フリップ式 ・その他() 2) 施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
(5)自動閉鎖装置	1) 方式 ・電気錠 ・その他() 2) 施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
27. 非常警報設備	
(1)設備	・非常放送装置 ・非常ベル
(2)非常放送装置	1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・スピーカ ・非常用リモンマイク ・その他() 3) 増幅器 ① 出力 () W ② 出力インピーダンス (Lo形 ・Hi形) ③ 形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他() ④ 機能 ・マイク放送 ・自動火災報知設備連動放送 ・緊急地震速報設備連動放送 ・その他() ⑤ 用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 4) スピーカ ① 結線 ・1W ・3W ・() W ② インピーダンス (Lo形 ・Hi形) ③ 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他() ④ 用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用 5) 非常用リモンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他()
(3)非常ベル(自動式サイレンを含む)	1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他() 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス(別途)に組込 ・その他()
28. ガス漏れ火災警報設備	
(1)機器	・受信機 ・副受信機 ・中継器 ・検知器 ・警報器 ・その他()
(2)受信機	1) 回線数 () 回線 2) 種類 ・都市ガス用 ・液化石油ガス用 3) 設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機などの複合壁 ・その他()
(3)副受信機	設置 ・単独(・壁掛形 ・自立形) ・火災受信機などの複合壁 ・その他()
(4)検知器	1) 動作 ・単独(単独動作) ・連動(受信機に伝送) 2) 定格電圧 ・AC100V ・DC24V(受信機等から供給) ・その他() 3) ガス検知出力信号 ・有電圧出力方式 ・無電圧接点方式

【中央監視制御設備】	
29. 中央監視制御設備	
(1)監視制御対象設備	・動力設備 ・受変電設備 ・発電設備 ・火災報知設備 ・その他()
(2)既設との取り扱い	・無し ・壁改造 ・配線接続 ・その他()
(3)機器	・監視操作装置 ・信号処理装置 ・記録装置 ・伝送装置 ・端末装置 ・その他()
(4)機能	仕様詳細は別図による。
(5)監視操作装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・その他() 2) 表示装置 ・液晶ディスプレイ ・その他() 3) 操作装置 ・タッチパネル ・キーボード ・マウス ・その他()
(6)信号処理装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他() 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他()
(7)記録装置	1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他() 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他() 3) 装置 ・プリンタ ・記録メディア()
【医療関係設備】	
30. 非接地電源用分電盤	
(1)機器	・絶縁変圧器 ・絶縁監視装置 ・電流監視装置 ・医用接地センサポディー ・その他()
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。
31. ナースコール設備	
(1)形式	・基本形ナースコール装置 ・携帯形ナースコール装置 ・情報表示形ナースコール装置 ・病床ユニット
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。
【構内配電線路】	
32. 構内配電線路	
(1)配線方式	・地中線式(・直埋 ・管路) ・架空線式(・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式(・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他()) ・その他()
(2)建柱	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他() 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他() 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線(保護ガード) ・有 ・無し 4) 設柱材料 ・有(電力仕様) ・無し 5) 設板 ・有 ・無し
(3)装柱機器(高圧用)	1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・端子 ・その他() 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。
(4)装柱機器(低圧用)	1) 機器 ・開閉器 ・開閉器箱 ・避雷器 ・カットアウト ・端子 ・その他() 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用
(5)ハンドホール・マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所
(6)鉄線蓋	1) 鉄線蓋の刻印は「強電」、「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。
(7)地中ケーブル保護材料	1) 種類 ・FEP ・GLT(PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他() 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製(アスファルト部分) 3) 埋設保護シート ・2倍長 ・その他() 4) 埋設保護シートの表記は電力用であることがわかるものとする。
【構内通信線路】	
33. 構内通信線路	
(1)用途	・電話用 ・拡声用 ・時刻表示用 ・火災報知用 ・非常警報用 ・インターホン用 ・テレビ共同受信用 ・防犯用 ・制御用 ・その他()
(2)配線方式	・地中線式(・直埋 ・管路) ・架空線式(・直接 ・ちよう架線添架) ・建築物等添架式(・露出配管 ・隠蔽配管 ・その他()) ・その他()
(3)建柱	1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他() 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・パンザマスト ・その他() 3) 支持材 ・根かせ ・根はじき ・根巻き ・底板 ・支線(保護ガード) ・有 ・無し 4) 設柱材料 ・有 ・無し 5) 設板 ・有 ・無し
(4)ハンドホール・マンホール	1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事) ・別途工事 ・既設利用 ・その他() 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・() 箇所
(5)鉄線蓋	1) 鉄線蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐための防水パッキン付とする。
(6)地中ケーブル保護材料	1) 種類 ・FEP ・GLT(PEライニング管) ・VE ・HIVE ・SGP ・厚鋼電線管 ・その他() 2) 標示杭埋設 ・コンクリート製 ・鉄製(アスファルト部分) 3) 埋設保護シート ・2倍長 ・その他() 4) 埋設保護シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。
【その他】	
34. 消火器	1) 設置 ・本工事(・建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事) ・別途工事 2) 消火器 種類 () ・数量 () 本 3) 消火器収容箱 材質 () ・数量 () 面

Ⅲ. 機器標準取付高さ標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(〇印はバリアフリー対応)																																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">電灯</td> <td>分電盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300 ○1,000mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント(一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>300 ○400mm</td> </tr> <tr> <td>コンセント(和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>コンセント(台所)</td> <td>床下～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>コンセント(WP)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント(地下)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>コンセント(土間)</td> <td>床下～中心</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動力</td> <td>ブラケット(一般)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(処理場)</td> <td>床下～中心</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電話</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">時計・拡声</td> <td>端子盤</td> <td>床下～下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>保安器盤</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>壁掛型時計</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500 上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">表示</td> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300 2,500mm</td> </tr> <tr> <td>アッテネータ</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">インターホン</td> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テレビ</td> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>子機(身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン(身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目(高700mm、便座先端から前方400mm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>表示灯(身障者用)</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>床下～中心</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下～中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>直列ユニット(和室)</td> <td>床下～中心</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下～中心</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床下～中心</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>表示灯</td> <td>床下～中心</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>床下～中心</td> <td>2,300</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床下～下端		取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000	電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm	スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm	コンセント(一般)	床下～中心	300 ○400mm	コンセント(和室)	床下～中心	200	コンセント(台所)	床下～中心	150	コンセント(WP)	床下～中心	1,000	コンセント(地下)	床下～中心	1,000	コンセント(土間)	床下～中心	500	動力	ブラケット(一般)	床下～中心	2,100～2,300	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150	ブラケット(処理場)	床下～中心	2,500	電話	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm	手元開閉器	床下～中心	1,500	操作スイッチ	床下～中心	1,300	時計・拡声	端子盤	床下～下端	300	保安器盤	床下～中心	2,000	壁位置ボックス	床下～中心	300	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm	子時計	床下～中心	2,300	表示	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm	アッテネータ	床下～中心	1,300	表示器	床下～中心	2,300	壁付発信器	床下～中心	1,300	インターホン	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300	壁付インターホン	床下～中心	1,300	壁位置ボックス	床下～中心	300	テレビ	壁位置ボックス(和室)	床下～中心	200	子機(身障者用)	床下～中心	1,100	呼出しボタン(身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目(高700mm、便座先端から前方400mm)	火災報知	表示灯(身障者用)	床下～中心	1,800	機器収容箱	床下～中心	2,000	直列ユニット	床下～中心	300	火災報知	直列ユニット(和室)	床下～中心	200	受信機・副受信機	床下～中心	1,500	発信器	床下～中心	1,300	火災報知	表示灯	床下～中心	1,800	ベル	床下～中心	2,300
名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																					
電力	接地端子盤	床下～下端																																																																																																																																						
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																					
	引込開閉器	床下～中心	1,800～2,000																																																																																																																																					
電灯	分電盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																					
	スイッチ	床下～中心	1,300 ○1,000mm																																																																																																																																					
	コンセント(一般)	床下～中心	300 ○400mm																																																																																																																																					
	コンセント(和室)	床下～中心	200																																																																																																																																					
	コンセント(台所)	床下～中心	150																																																																																																																																					
	コンセント(WP)	床下～中心	1,000																																																																																																																																					
	コンセント(地下)	床下～中心	1,000																																																																																																																																					
	コンセント(土間)	床下～中心	500																																																																																																																																					
動力	ブラケット(一般)	床下～中心	2,100～2,300																																																																																																																																					
	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																					
	ブラケット(処理場)	床下～中心	2,500																																																																																																																																					
電話	壁掛型制御盤	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																					
	手元開閉器	床下～中心	1,500																																																																																																																																					
	操作スイッチ	床下～中心	1,300																																																																																																																																					
時計・拡声	端子盤	床下～下端	300																																																																																																																																					
	保安器盤	床下～中心	2,000																																																																																																																																					
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																					
	壁掛型時計	床下～中心	1,500 上端1,900mm																																																																																																																																					
	子時計	床下～中心	2,300																																																																																																																																					
表示	壁掛型スピーカ	床下～中心	2,300 2,500mm																																																																																																																																					
	アッテネータ	床下～中心	1,300																																																																																																																																					
	表示器	床下～中心	2,300																																																																																																																																					
	壁付発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																					
インターホン	ベル・ブザー・チャイム	床下～中心	2,300																																																																																																																																					
	壁付インターホン	床下～中心	1,300																																																																																																																																					
	壁位置ボックス	床下～中心	300																																																																																																																																					
テレビ	壁位置ボックス(和室)	床下～中心	200																																																																																																																																					
	子機(身障者用)	床下～中心	1,100																																																																																																																																					
	呼出しボタン(身障者用)	床下～中心	800～950 便座先端から後方へ100～200mm 2個目(高700mm、便座先端から前方400mm)																																																																																																																																					
火災報知	表示灯(身障者用)	床下～中心	1,800																																																																																																																																					
	機器収容箱	床下～中心	2,000																																																																																																																																					
	直列ユニット	床下～中心	300																																																																																																																																					
火災報知	直列ユニット(和室)	床下～中心	200																																																																																																																																					
	受信機・副受信機	床下～中心	1,500																																																																																																																																					
	発信器	床下～中心	1,300																																																																																																																																					
火災報知	表示灯	床下～中心	1,800																																																																																																																																					
	ベル	床下～中心	2,300																																																																																																																																					

参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(最終改正 平成21年国土省告示第906号) ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等(平成25年4月 三県)

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室空調設備設置工事		縮尺	—
図面名称	電気設備 特記仕様書(3)	原図	A 2
津市建設部営繕課		No	ETK-03



配置図 1 : 800

津市立一志中学校

備考	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	

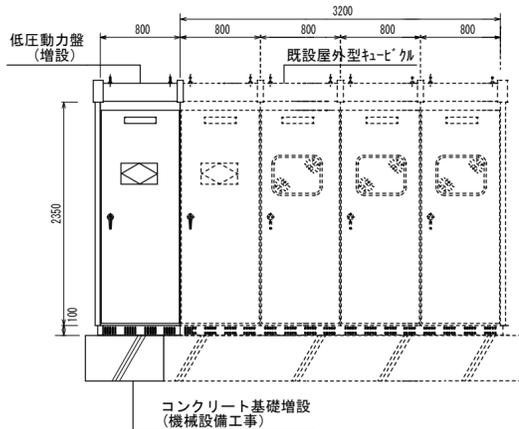
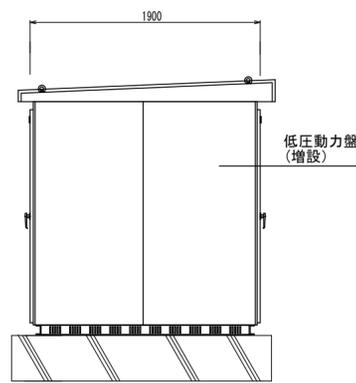
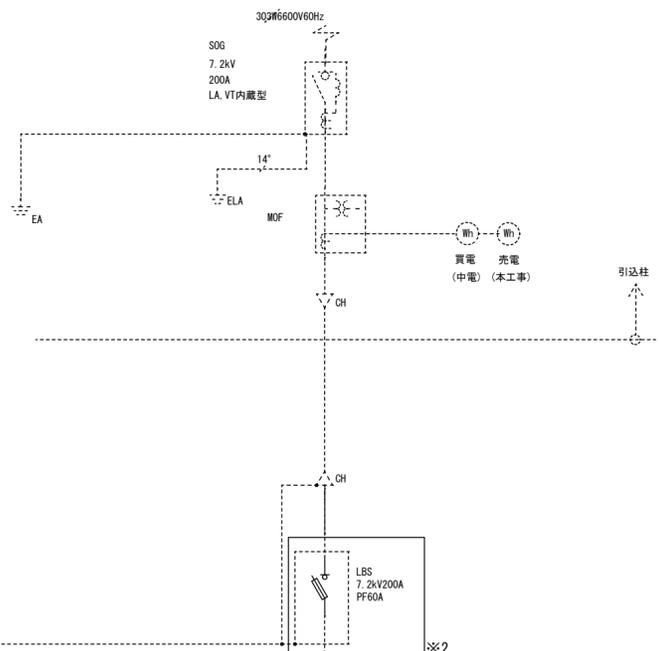
SCALE	A2 : 1/800
	A3 : 1/1031
DATE	

工事名称	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称	配置図

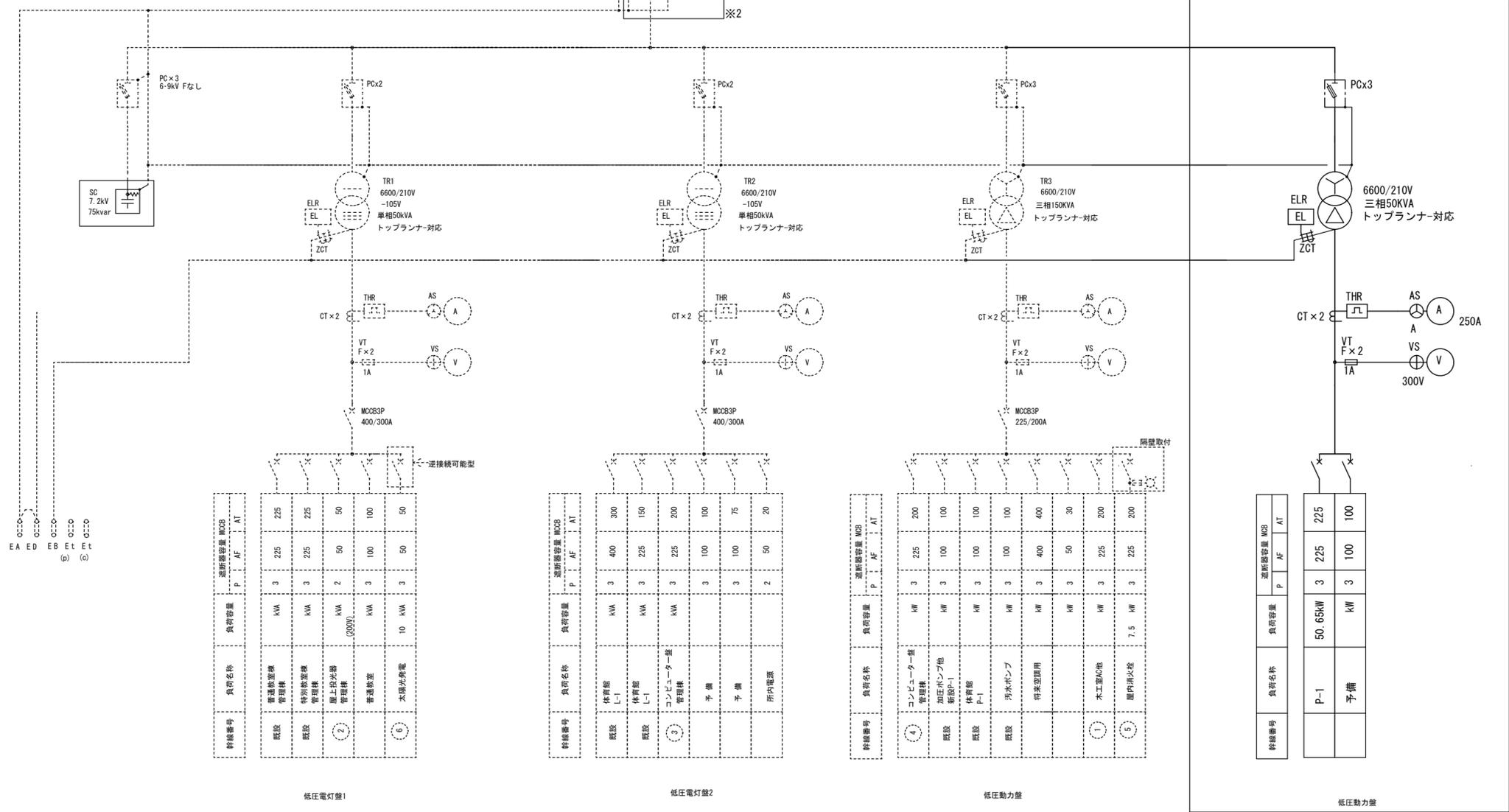
E-01
原図 : A2

※1	低圧動力盤を増設
※2	LBS限流ヒューズPF30AをPF60Aに取替え
※3	コンデンサー3φ50kvar(油入)を3φ75kvar(油入)に取替え
図中細点線にて記入のものは現況再使用を示す	

停電工事中において給食用機器(冷蔵庫等)の仮設電源として
10KVA程度の発電機を見込む事(1日程度)



低圧動力盤参考図

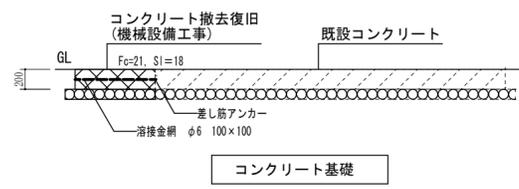
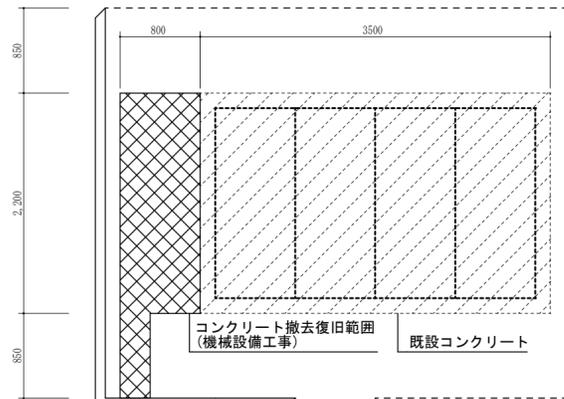


幹線番号	負荷名称	負荷容量	P	AF	AT
既設	普通教室棟 管理棟	kVA	3	225	225
既設	特別教室棟 管理棟	kVA	3	225	225
既設	屋上投光器 管理棟	kVA	2	50	50
既設	普通教室	kVA	3	100	100
既設	木構光源電	10 kVA	3	50	50

幹線番号	負荷名称	負荷容量	P	AF	AT
既設	体育館	kVA	3	400	300
既設	体育館 L-1	kVA	3	225	150
既設	コンピュータ室	kVA	3	225	200
既設	予備		3	100	100
既設	予備		3	100	75
既設	所内電源		2	50	20

幹線番号	負荷名称	負荷容量	P	AF	AT
既設	コンピュータ室 管理棟	kW	3	225	200
既設	加圧ポンプ池 新設P-1	kW	3	100	100
既設	体育館 P-1	kW	3	100	100
既設	汚水ポンプ	kW	3	100	100
既設	将来空調用	kW	3	400	400
既設	木工部心池	kW	3	50	30
既設	屋内消火栓	kW	3	225	200
既設	屋内消火栓	7.5 kW	3	225	200

幹線番号	負荷名称	負荷容量	P	AF	AT
既設	P-1	50.65kW	3	225	225
既設	予備	kW	3	100	100



津市立一志中学校

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

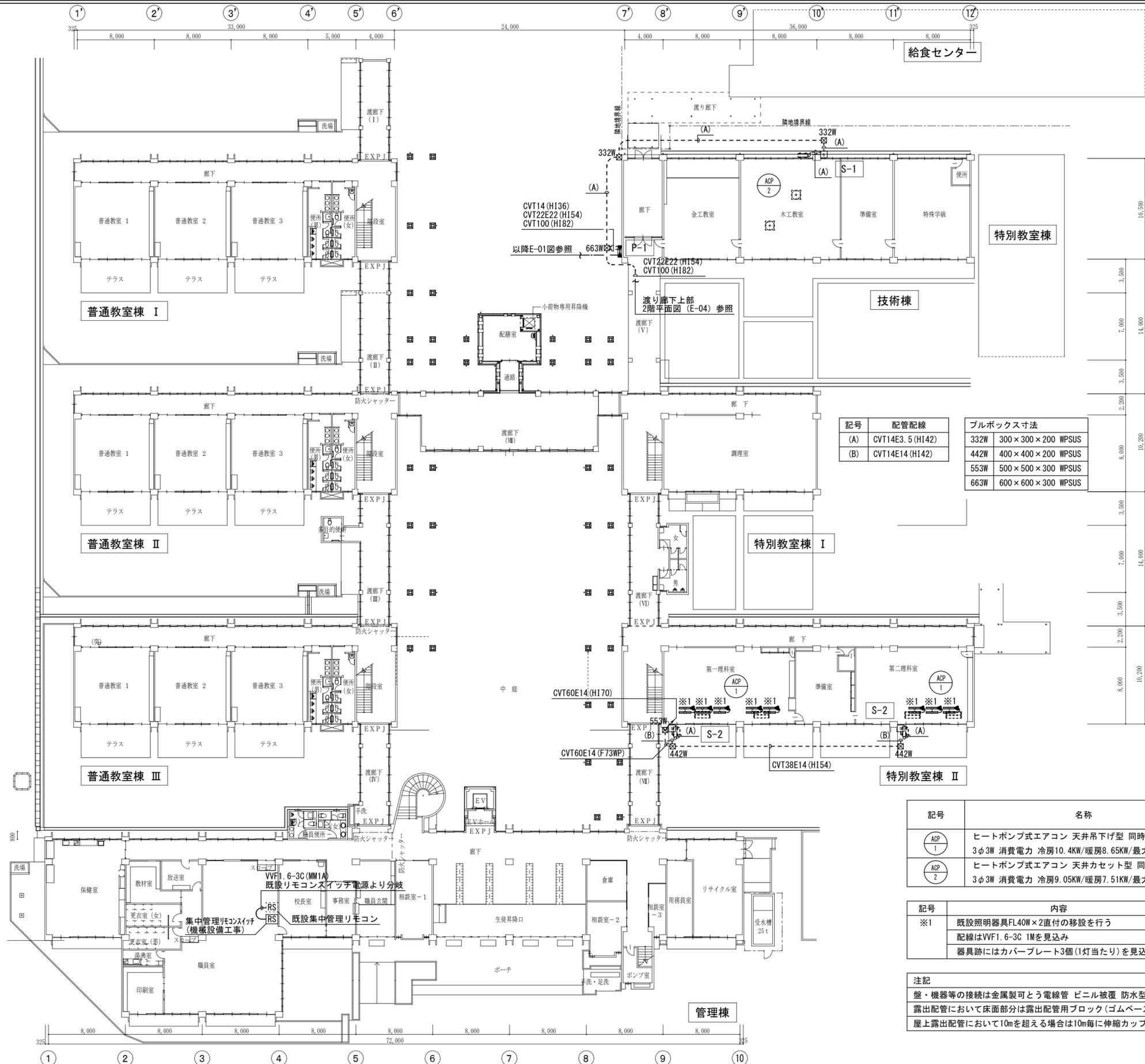
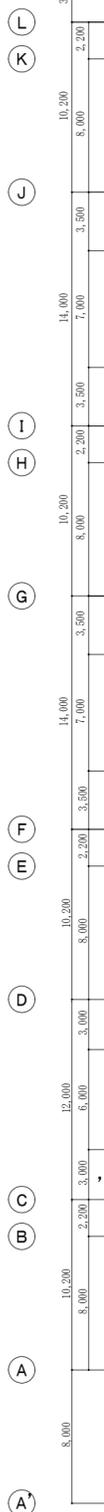
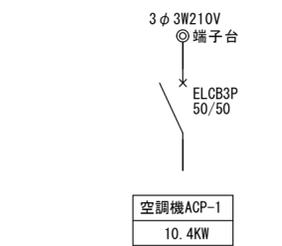
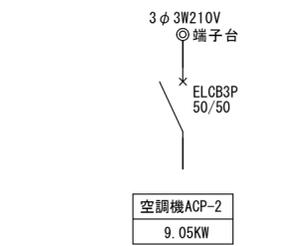
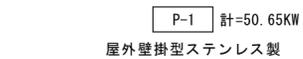
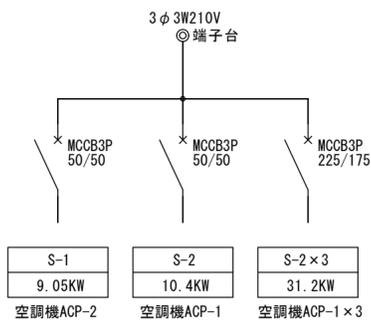
設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	

SCALE	A2 : N・S
A3 : N・S	
DATE	

工事名称 津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
 図面名称 受変電設備

E-02
 原図 : A2

記号	名称
■	動力盤
S	手元開閉器
□	プルボックス
■	埋設標示標 コンクリート製
○	既設ハンドホール



記号	配管配線	プルボックス寸法
(A)	CVT14E3.5 (H142)	332W 300×300×200 WPSUS
(B)	CVT14E14 (H142)	442W 400×400×200 WPSUS
		553W 500×500×300 WPSUS
		663W 600×600×300 WPSUS

記号	名称
ACP 1	ヒートポンプ式エアコン 天井吊下げ型 同時ツイン 3φ3W 消費電力 冷房10.4KW/暖房8.65KW/最大低温11.5KW
ACP 2	ヒートポンプ式エアコン 天井カセット型 同時ツイン 3φ3W 消費電力 冷房9.05KW/暖房7.51KW/最大低温10.4KW

記号	内容
※1	既設照明器具FL40W×2直付の移設を行う 配線はVVf1.6-3C 1Mを見込み 器具跡にはカバープレート3個(1灯当たり)を見込む事

注記
 盤・機器等の接続は金属製可とう電線管 ビニル被覆 防水型を使用する
 露出配管において床面部分は露出配管用ブロック(ゴムベース付)にて支持を行う
 屋上露出配管において10mを超える場合は10m毎に伸縮カップリングを使用すること

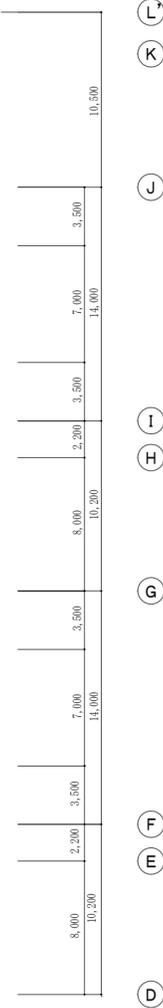
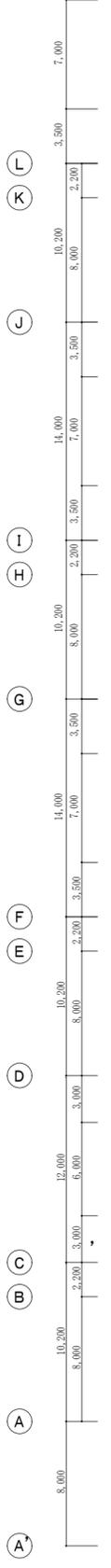
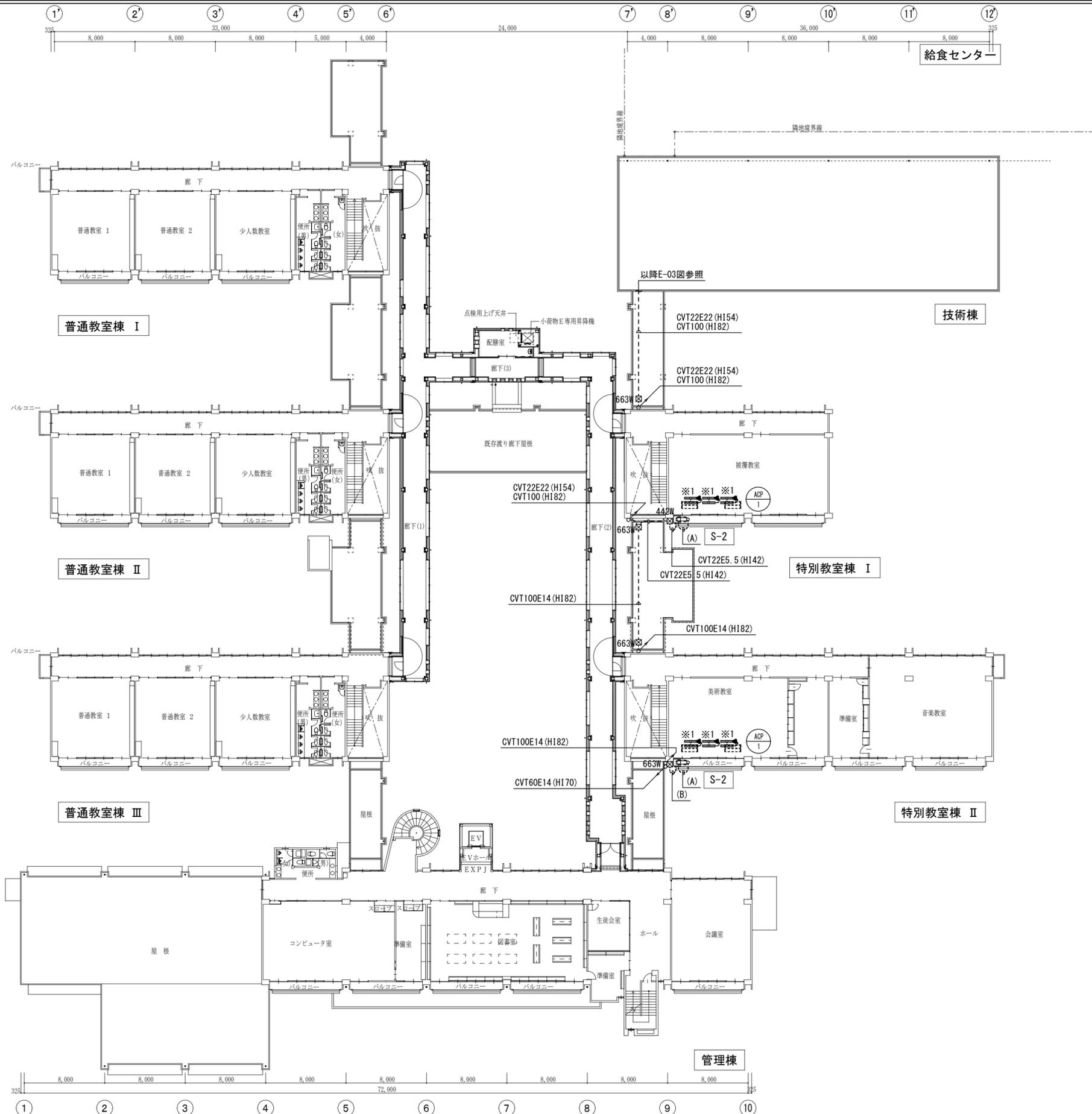
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 達也

設計代表者 一級建築士 No.352551 田端 達也
 設計担当者

SCALE
 A2 : 1/300
 A3 : 1/424
 DATE

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室
 工事名称 空調設備設置工事
 図面名称 動力設備・電灯設備 1階平面図

津市立一志中学校
 E-03
 原図: A2



津市立一志中学校

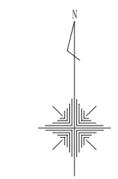
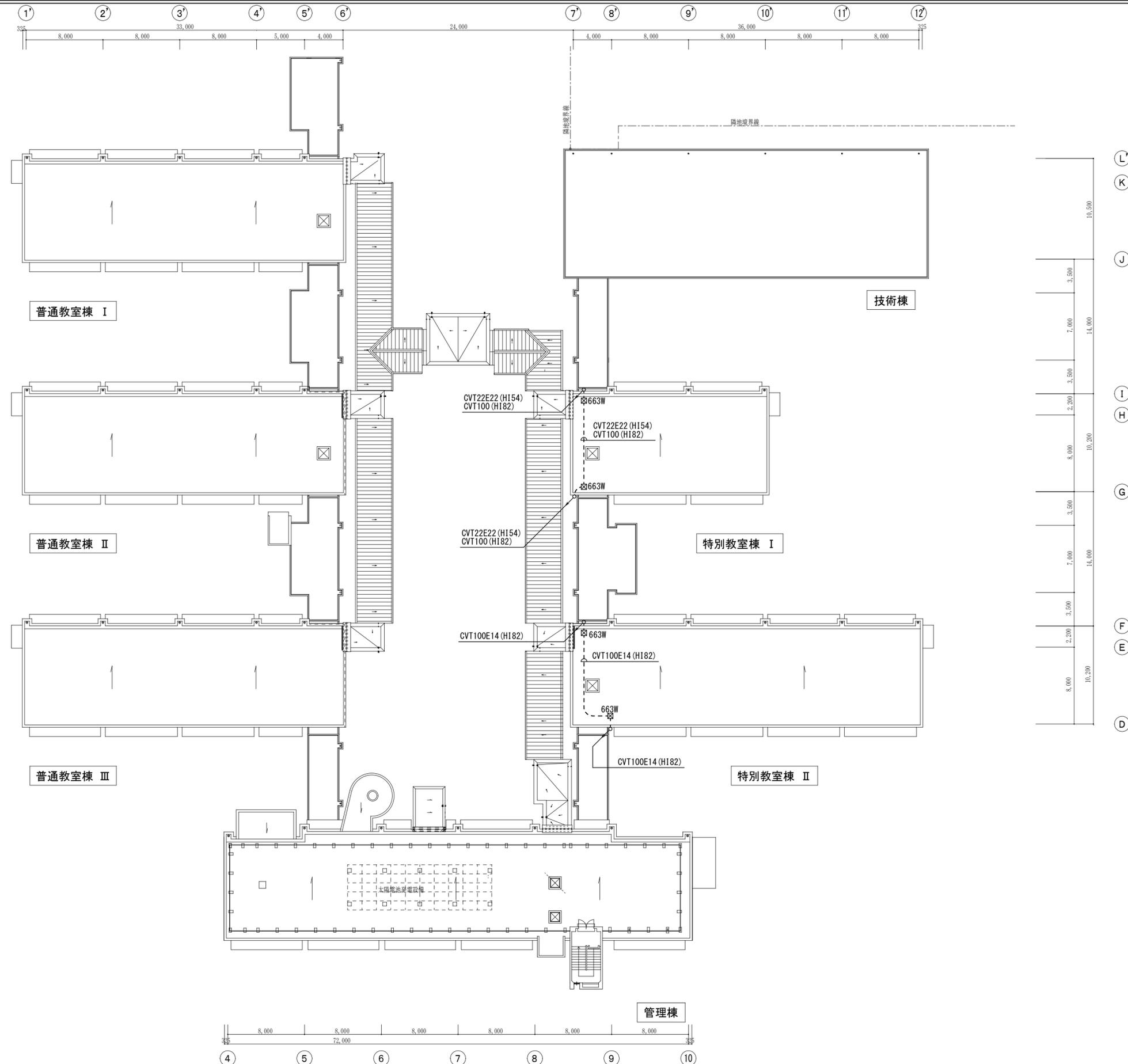
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 №352551 田端 進也

設計代表者
 一級建築士 №352551 田端進也
 設計担当者

SCALE
 A2 : 1/300
 A3 : 1/424
 DATE

工事名称 津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室
 空調設備設置工事
 図面名称 動力設備・電灯設備 2階平面図

E-04
 原図：A2



津市立一志中学校

備考	

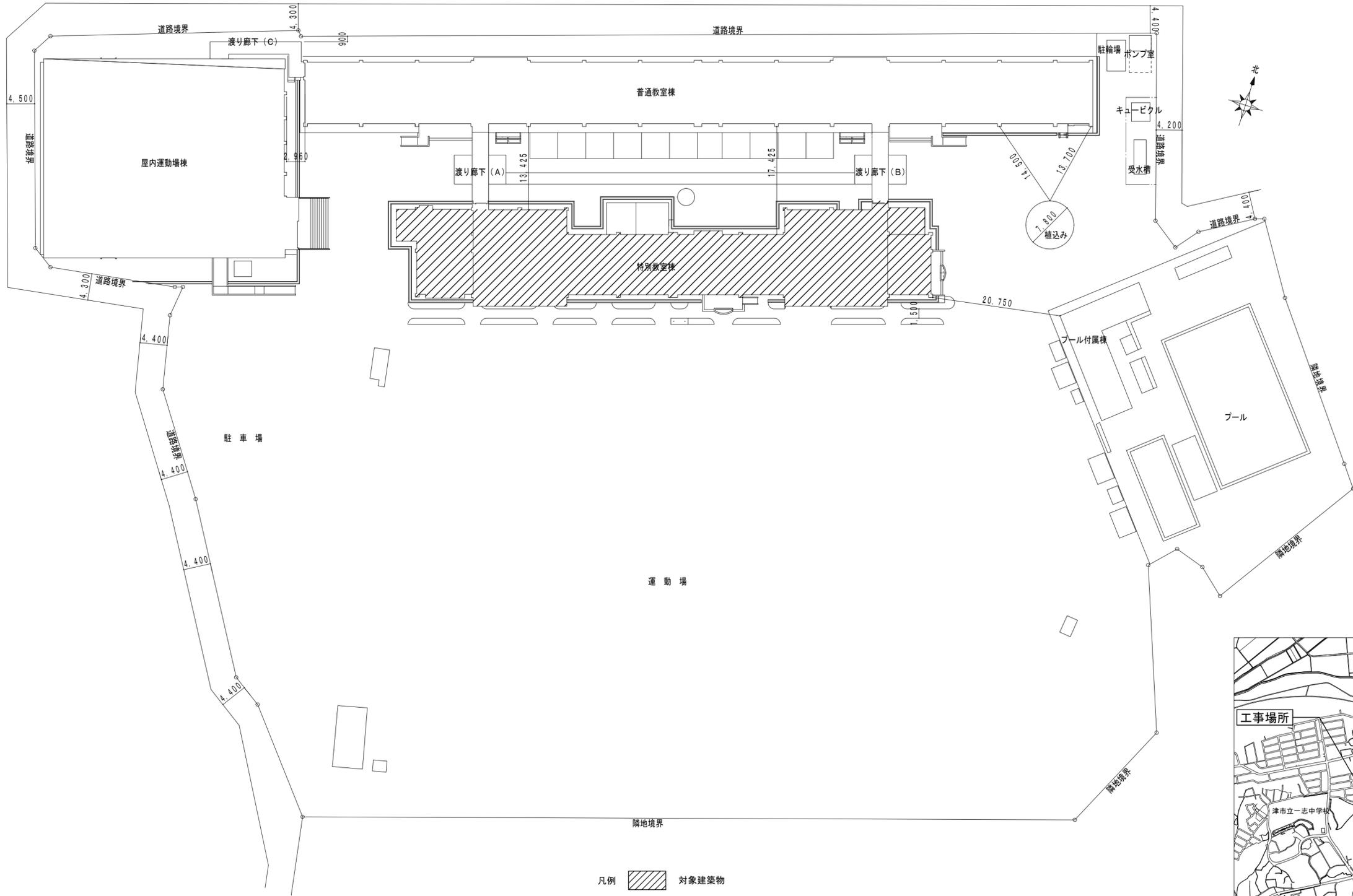
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	

SCALE
A2 : 1/300
A3 : 1/424
DATE

工事名称	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称	動力設備 3階平面図

E-05
原図：A2



凡例 対象建築物
 配置図 S=1/500



付近見取図 N/S

津市立一志西小学校

備	
考	

(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.24324 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆

SCALE	A2 : 1/500
	A3 : 1/705
DATE	

工事名称	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称	空調設備 付近見取図・配置図

M-01
原図：A2

空調凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
— R —	冷媒管		空調室内機	RS	集中管理リモコン
— D —	ドレン管		空調室外機		

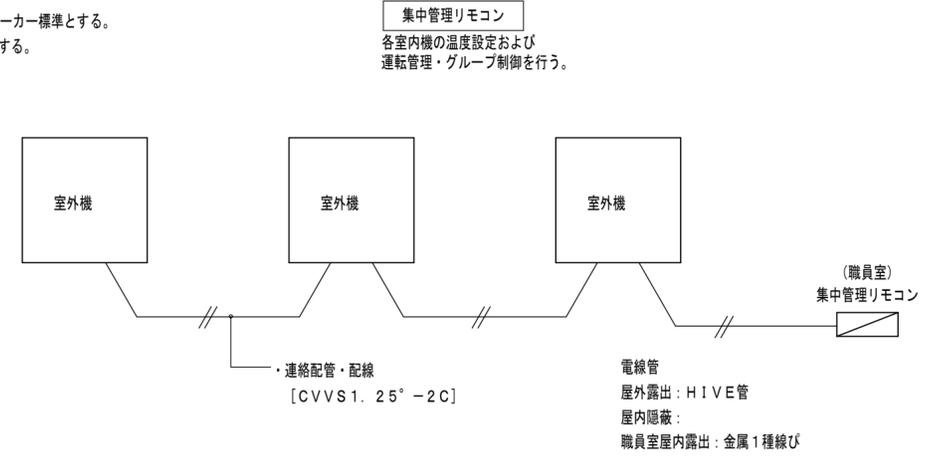
空調機器表 形式 ヒートポンプ式

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量				備考				
			相	電圧	圧縮機	送風機					
			(φ)	(V)	(kW)	内 (kW) 外 (kW)	台数				
ACP-1	ヒートポンプ式エアコン	形式	天井吊下げ形：同時ツイン	3	200	4.61	0.150X2 0.292X2	2	設置場所：1階図工室 2階調理室		
		冷房能力	20.0 (10.1~22.4)kW								
		暖房能力	22.4 (10.1~28.0)kW								
		冷房消費電力	6.81 kW								
		暖房消費電力	6.15 kW								
		最大低温暖房消費電力	7.12 kW								
		付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、集中管理アダプター、他付属品一式								
		基礎	既製コンクリート架台+防振ゴム								
		ACP-2	ヒートポンプ式エアコン	形式	天井吊下げ形	3	200	2.99	0.15 0.211	4	設置場所：1階理科室 2階音楽室
				冷房能力	14.0 (6.3~16.0) kW						
暖房能力	16.0 (7.2~20.0) kW										
冷房消費電力	5.38 kW										
暖房消費電力	4.65 kW										
最大低温暖房消費電力	7.1 kW										
付属品	ワイヤレスリモコン、標準フィルター、集中管理アダプター、他付属品一式										
基礎	既製コンクリート架台+防振ゴム										
集中管理リモコン：タッチパネル、グループ制御、個別一括運転、停止・異常表示・温度設定					1	100				1	設置場所：職員室
防護ネット										1	

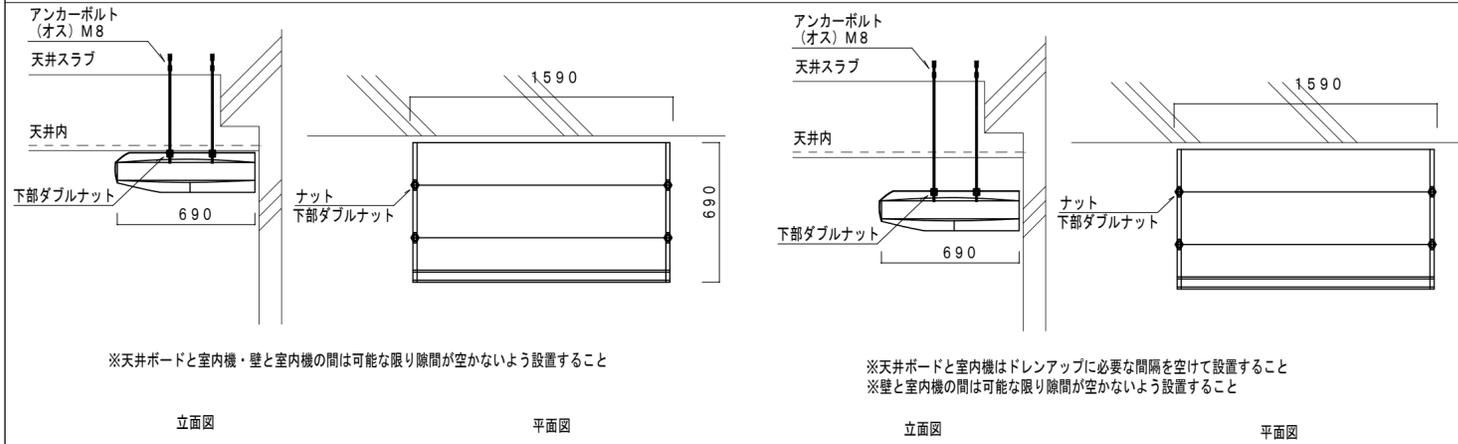
注記 運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。機器は同等品以上とする。
 空調機トップランナー基準改定仕様とする。機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。
 冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。但し該当しない機器については製造業者標準仕様による。
 室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。
 リモコン配線共本工事とする。
 室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。

室外機連絡線配線参考図

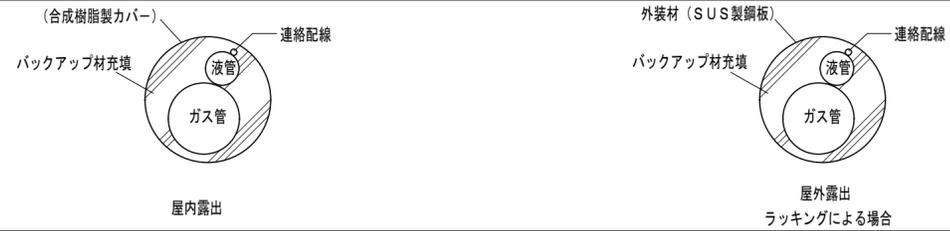
※1. 室内機、室外機に必要な連絡・制御配線はメーカー標準とする。
 ※2. 室外機渡りの露出中継ボックスはSUS製とする。



室内機取付詳細図



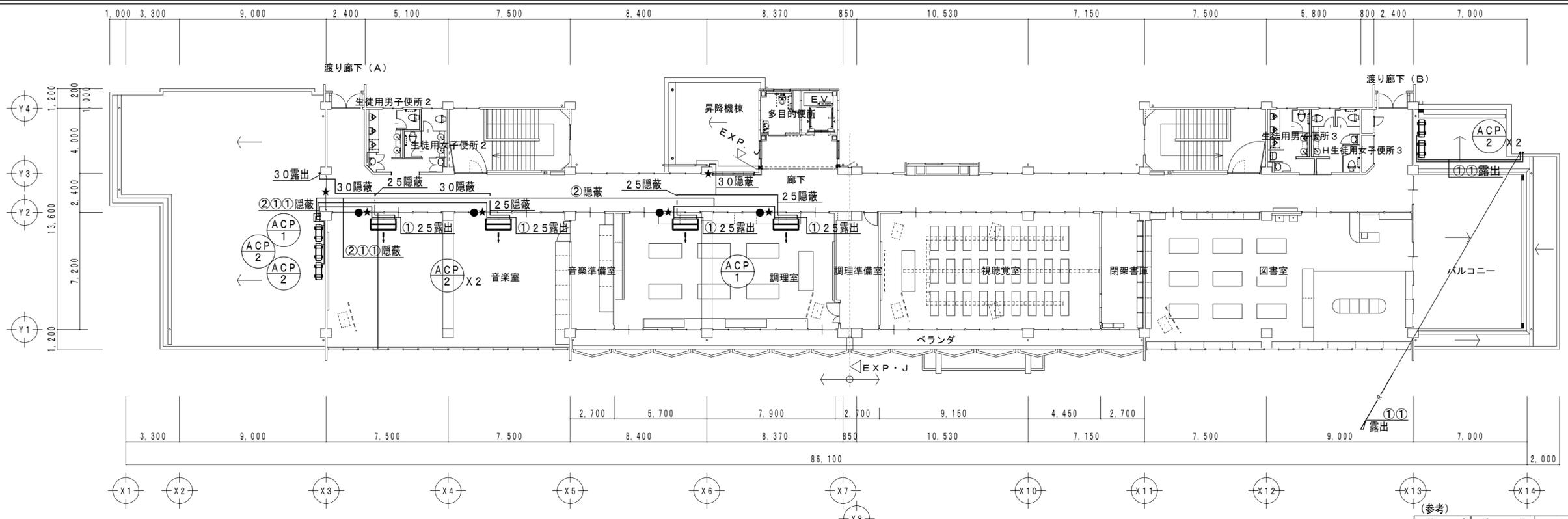
冷媒管保温要領



コア抜き参考図



津市立一志西小学校

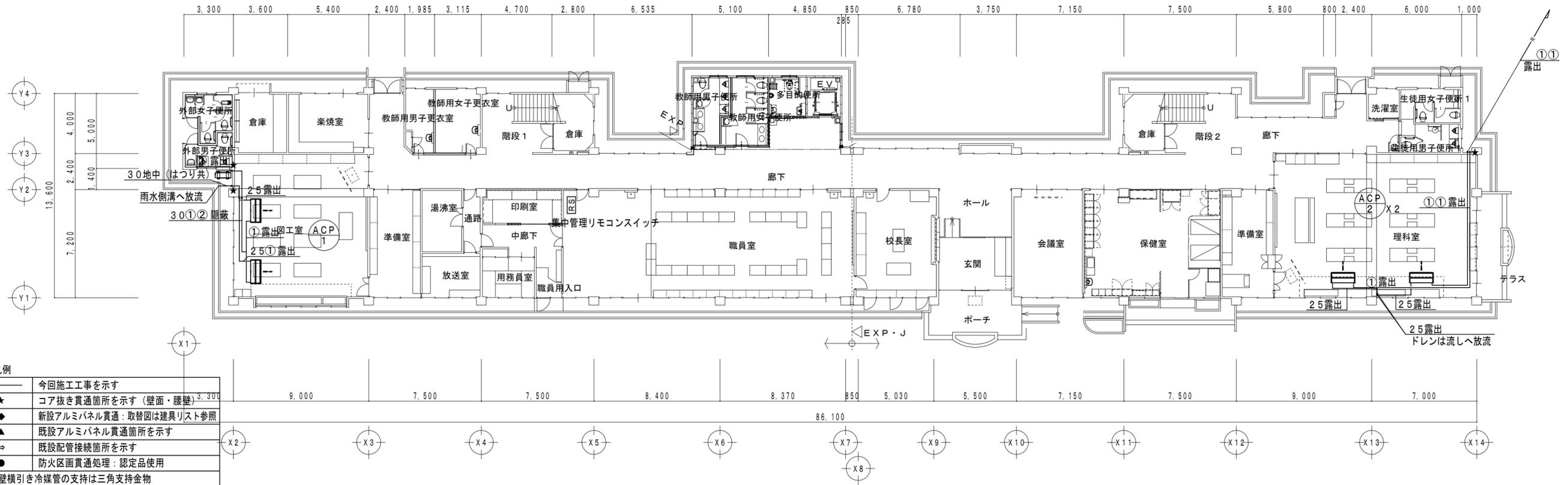


2階 平面図 1/200

(参考)

配管サイズ	ガス管	液管	連絡配線
①	15.9φ	9.5φ	VVF2 ⁺ -3C
②	25.4φ	9.5φ	VVF2 ⁺ -3C
③	25.4φ	12.7φ	VVF2 ⁺ -3C

*連絡配線は冷媒共巻きとする



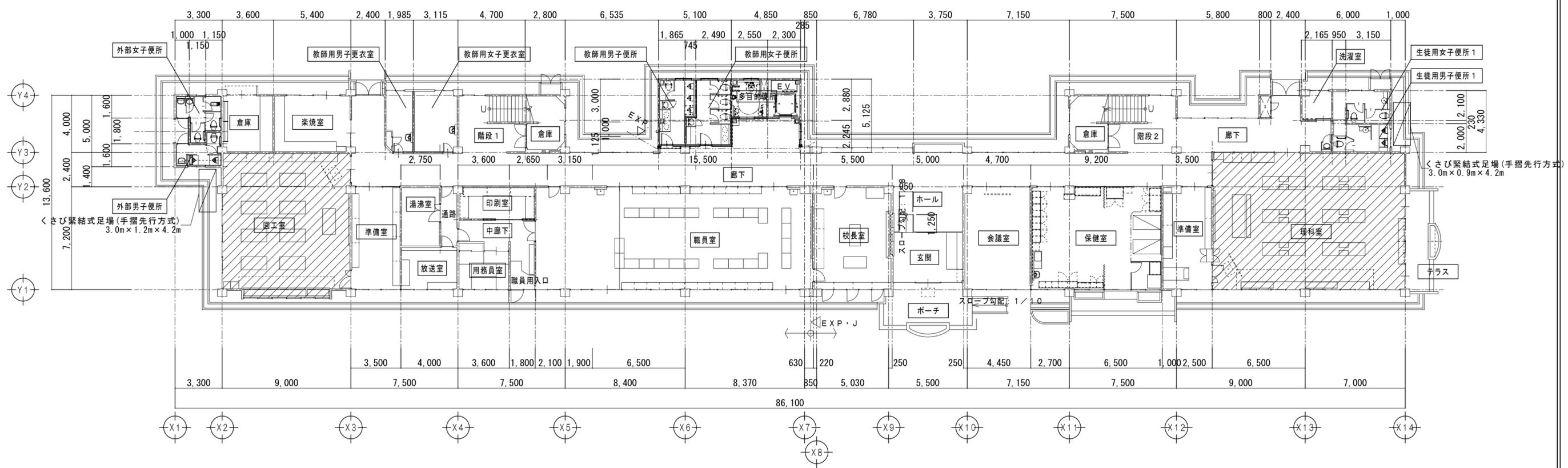
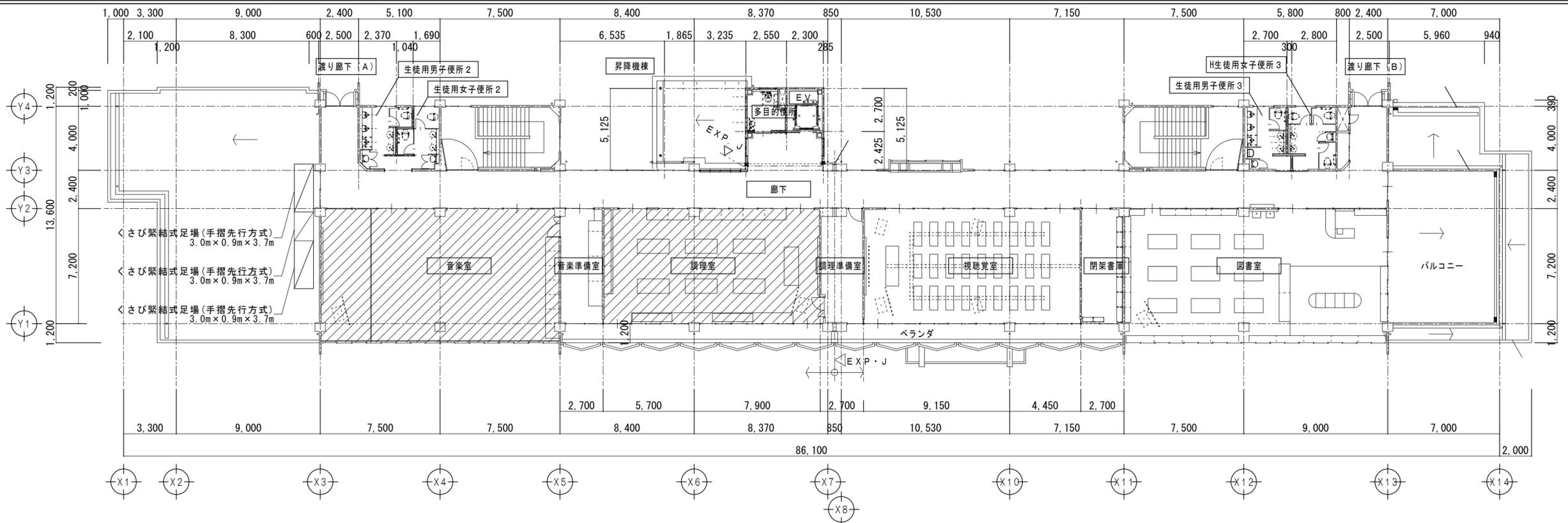
1階 平面図 1/200

工事凡例

—	今回施工工事を示す
★	コア抜き貫通箇所を示す(壁面・腰壁)
◆	新設アルミパネル貫通: 取替図は建具リスト参照
▲	既設アルミパネル貫通箇所を示す
⇒	既設配管接続箇所を示す
●	防火区画貫通処理: 認定品使用
●	外壁横引き冷媒管の支持は三角支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。
●	室外機裏側の冷媒管の支持は門型支持金物 (SS製, 溶融亜鉛めっき仕上げ) とする。

津市立一志西小学校

備考	<p>(株)田端隆建築設計 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.134324 田端 隆</p>	設計代表者	設計担当者	SCALE	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事 工事名称 図面名称 空調設備 1・2階平面図	M-03 原図: A2
		一級建築士 No.24224 構造設計一級建築士 No.2300 田端 隆	一級建築士 No.352551 田端 隆	A2 : 1/200 A3 : 1/282 DATE		



斜線：空調設備設置教室

津市立一志西小学校

備考	
----	--

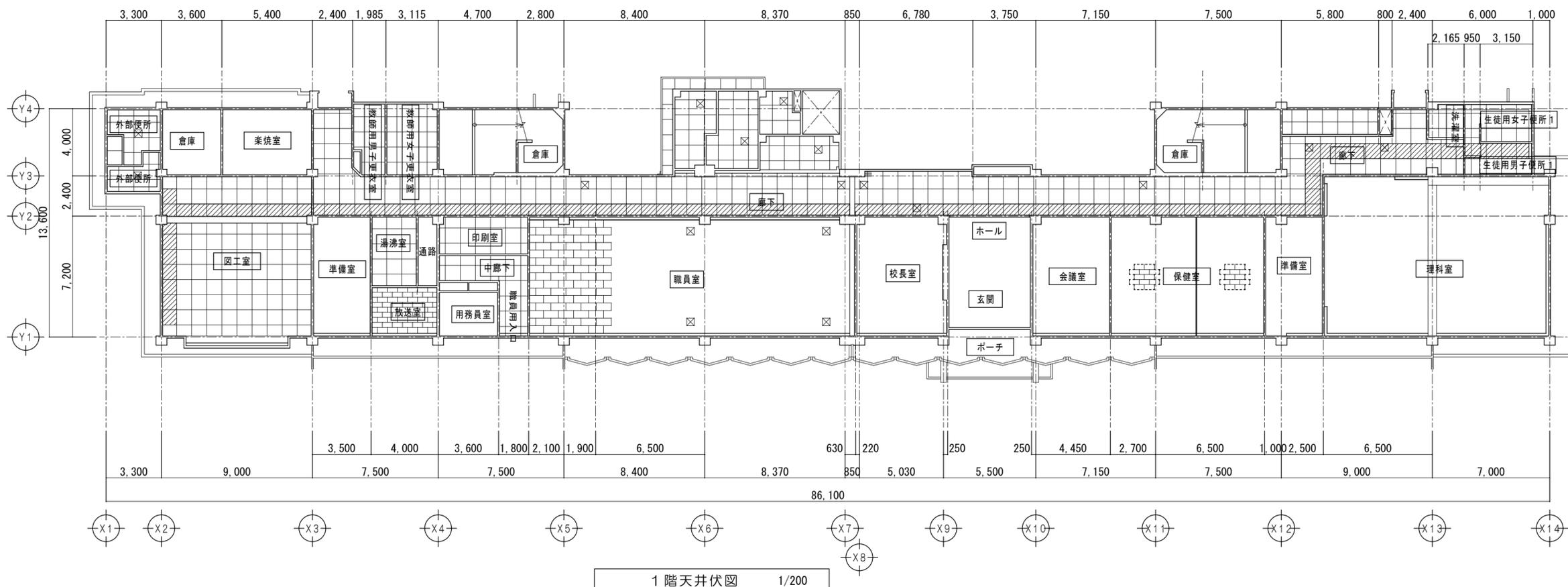
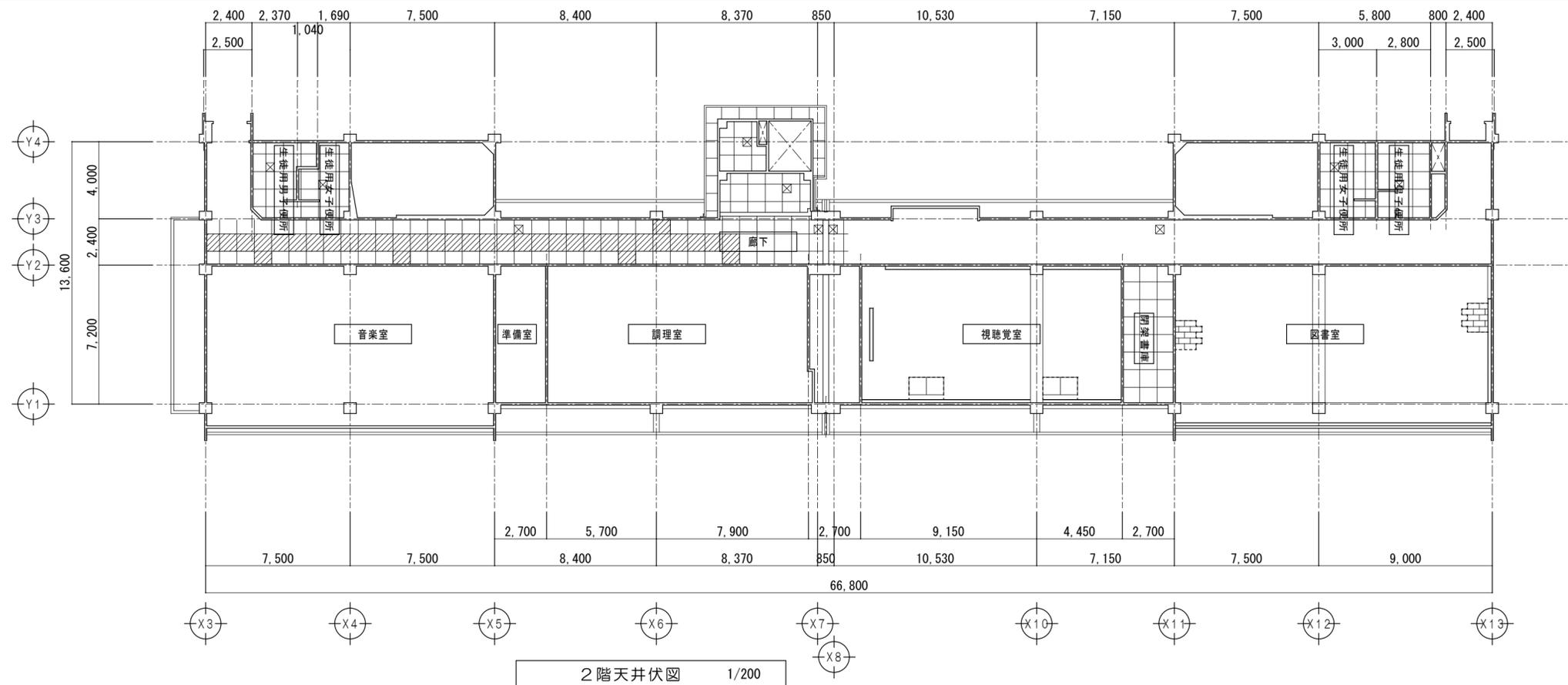
(株)田端隆建築設計
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	

SCALE	A2 : 1/200
DATE	

工事名称	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称	特別教室棟 1階 2階 平面図

M-05
原図：A2



天井脱着範囲

備考	
----	--



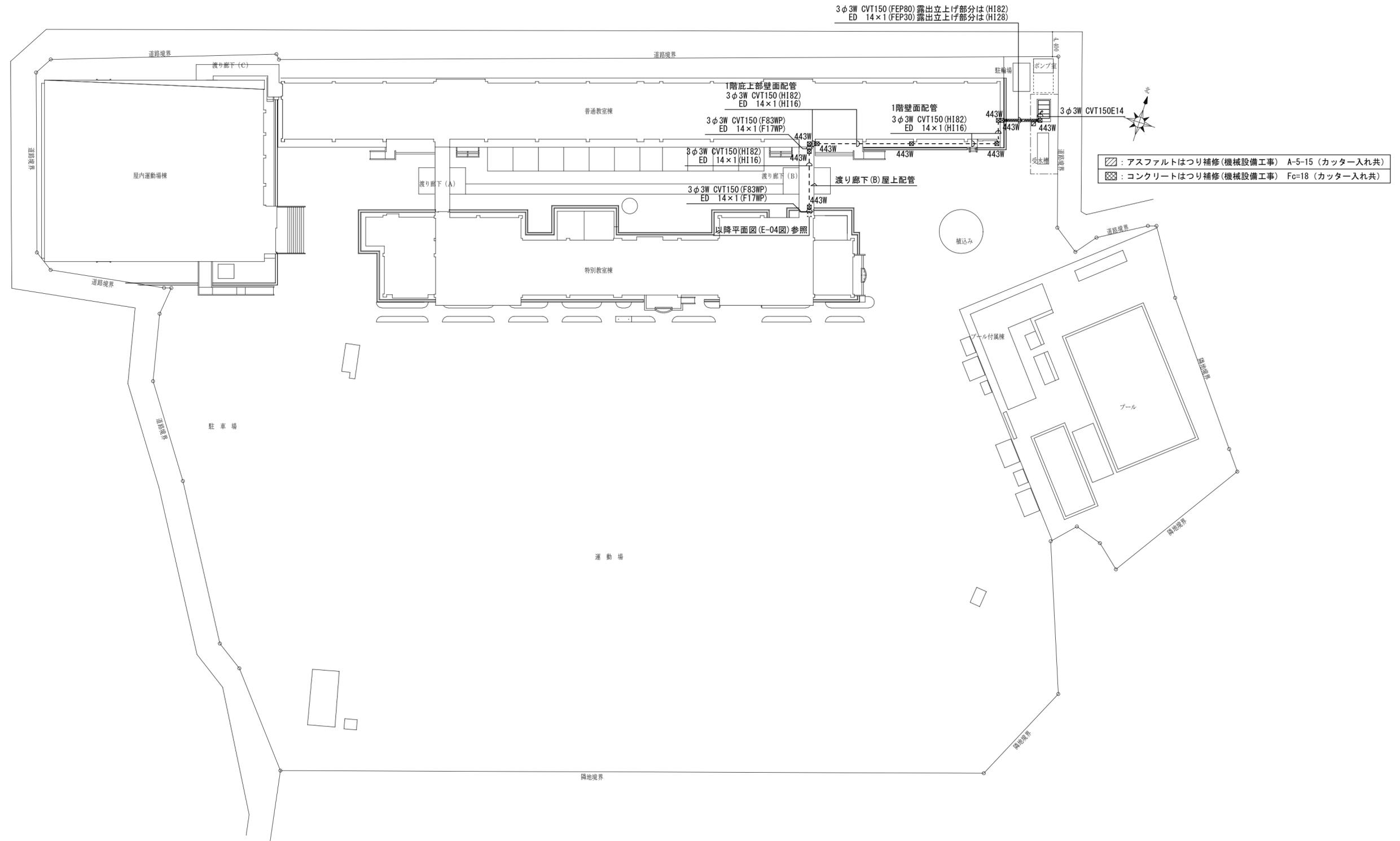
 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也

設計代表者	設計担当者
一級建築士 No.352551 田端進也	

SCALE	A2 : 1/200
DATE	

津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事
図面名称 特別教室棟 1階 2階 天井伏図

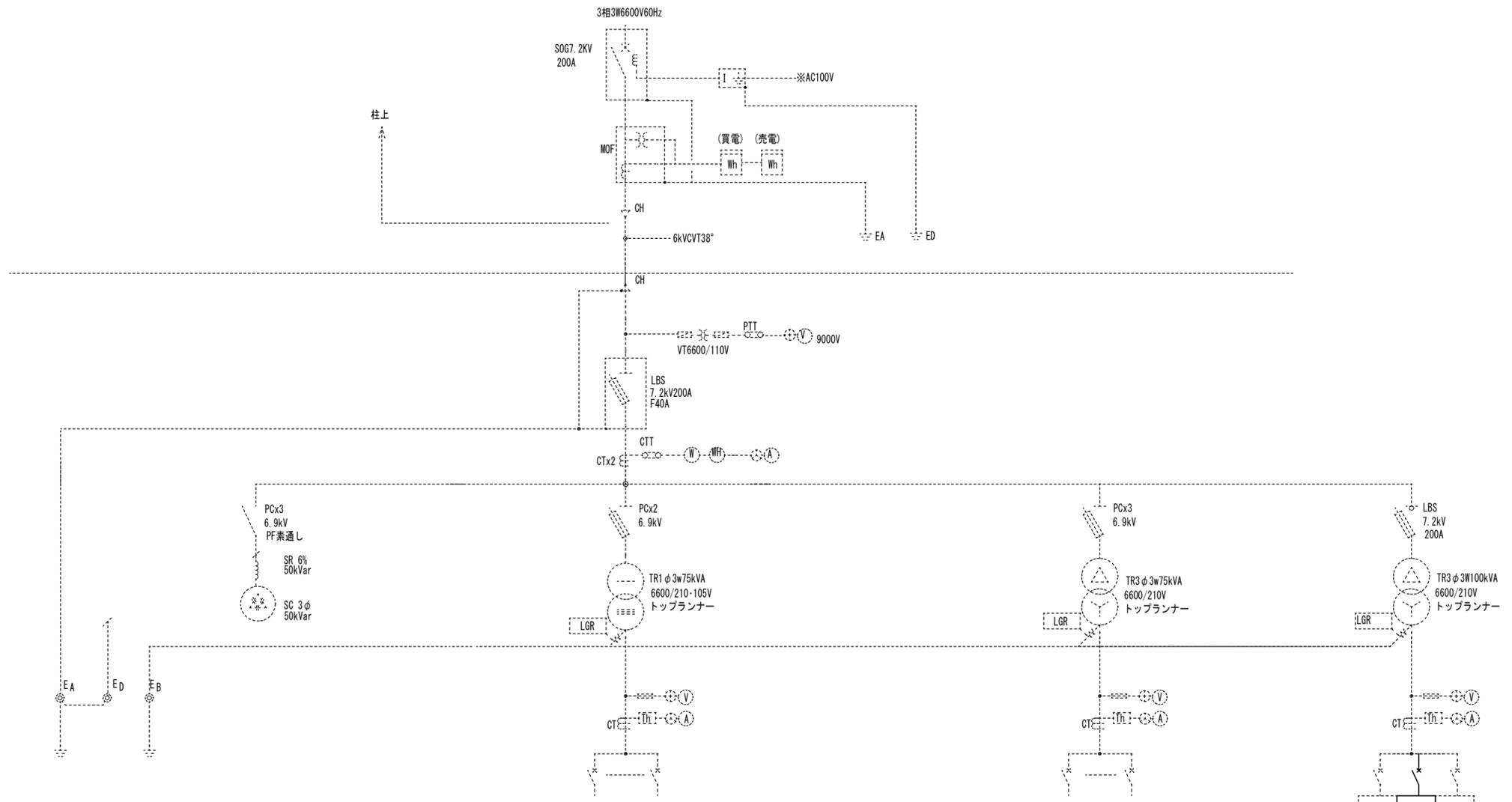
津市立一志西小学校
 M-06
 原図 : A2



配置図 S=1/500

津市立一志西小学校

備考			設計代表者 一級建築士 No.352551 田端 進也	設計担当者	SCALE A2 : 1/500 A3 : 1/707 DATE	工事名称 津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事	E-01 原図 : A2
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也				図面名称 配置図		

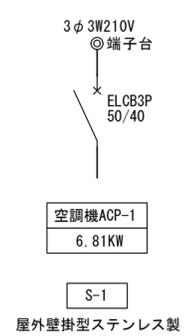
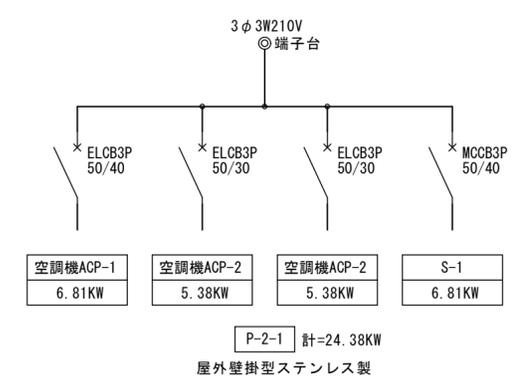
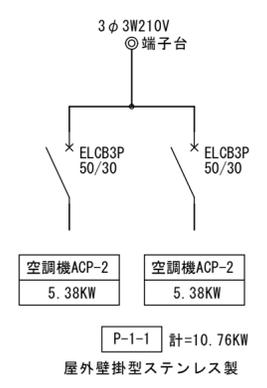


既設受電設備 単線結線図 点線表示は既設を示し再使用を行う

0#-1	3P400/350A	61.28
P-1-1-P-2-1	3P225/175A	35.14
予備	3P100/100A	

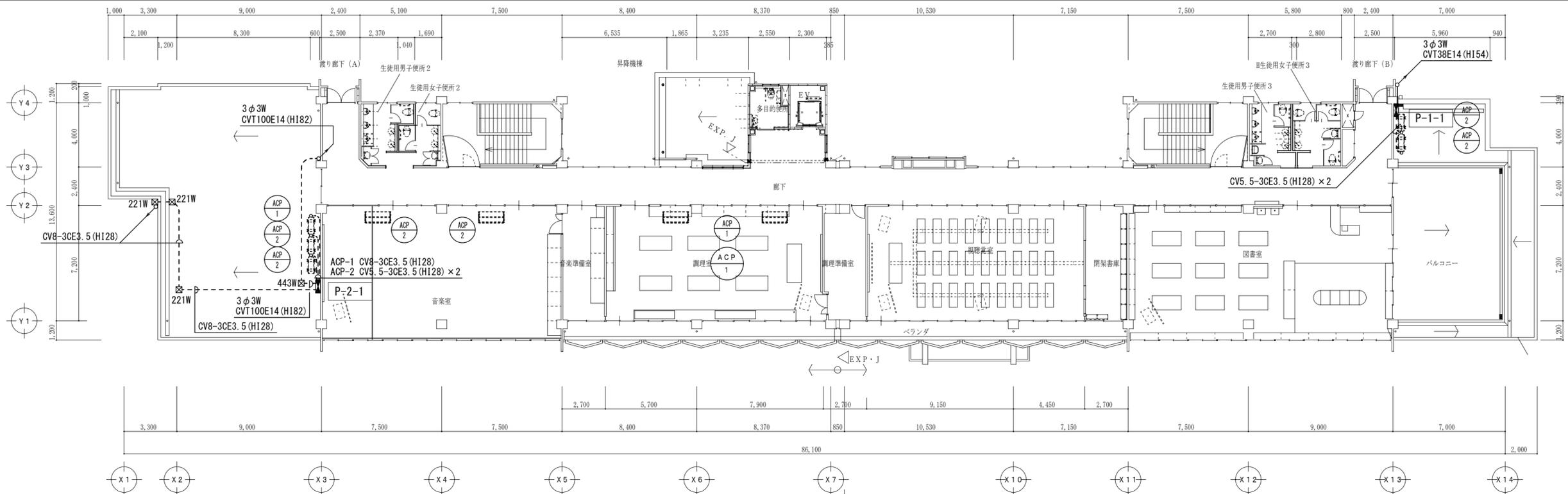
※1

既設キュービクル改修
※1 既設予備MCCB3P225/225をMCCB3P225/175に更新する



津市立一志西小学校

備 考			設計代表者 一級建築士 №.352551 田端 進也	設計担当者	SCALE A2 : N・S A3 : N・S DATE	工事名称 津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 空調設備設置工事	E-02 原図 : A2
	三重県知事登録第1-861 一級建築士 №.352551 田端 進也				図面名称 受変電設備・分電盤結線図		



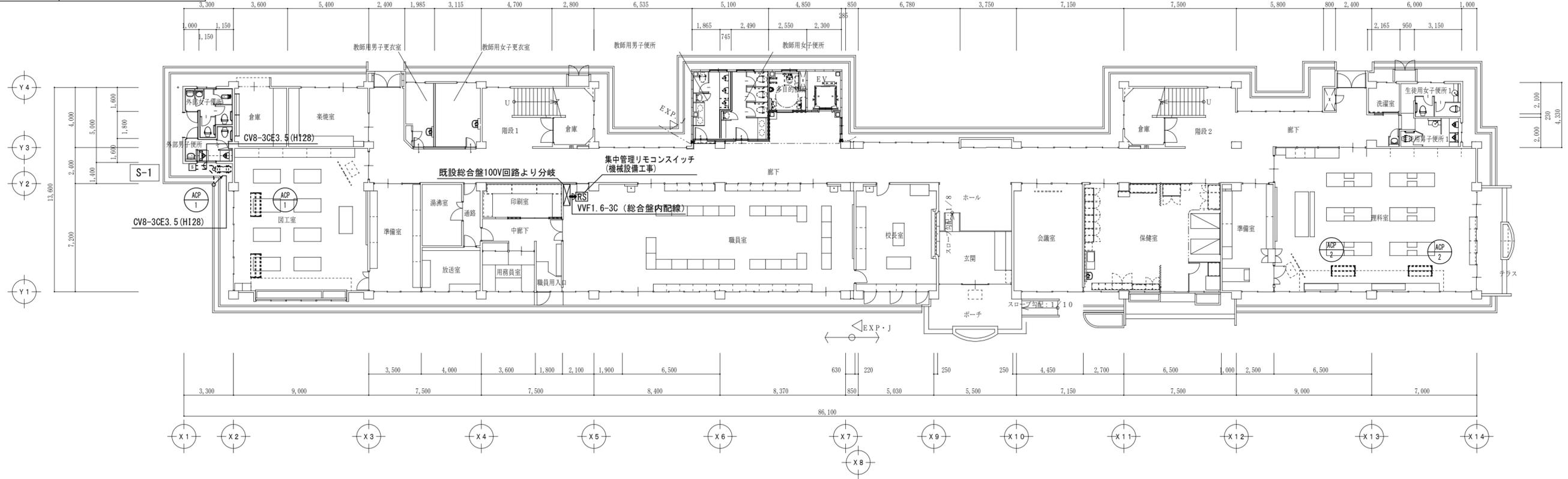
2階 平面図 1/200

記号	名称
	動力盤
	手元開閉器
	1種金属線び コーナーボックス
	ブルボックス
	埋設標示標 鉄製

注記
 盤・機器等の接続は金属製可とう電線管 ビニル被覆 防水型を使用する
 露出配管において床面部分、屋上部分は露出配管用ブロック(ゴムベース付)にて支持を行う
 屋上露出配管において10mを超える場合は10m毎に伸縮カップリングを使用すること

記号	名称
ACP 1	ヒートポンプ式エアコン 天井吊下げ型 同時ツイン 3φ3W 消費電力 冷房6.81KW/暖房6.15KW/最大低温7.12KW
ACP 2	ヒートポンプ式エアコン 天井吊下げ型 3φ3W 消費電力 冷房5.38KW/暖房4.65KW/最大低温7.1KW

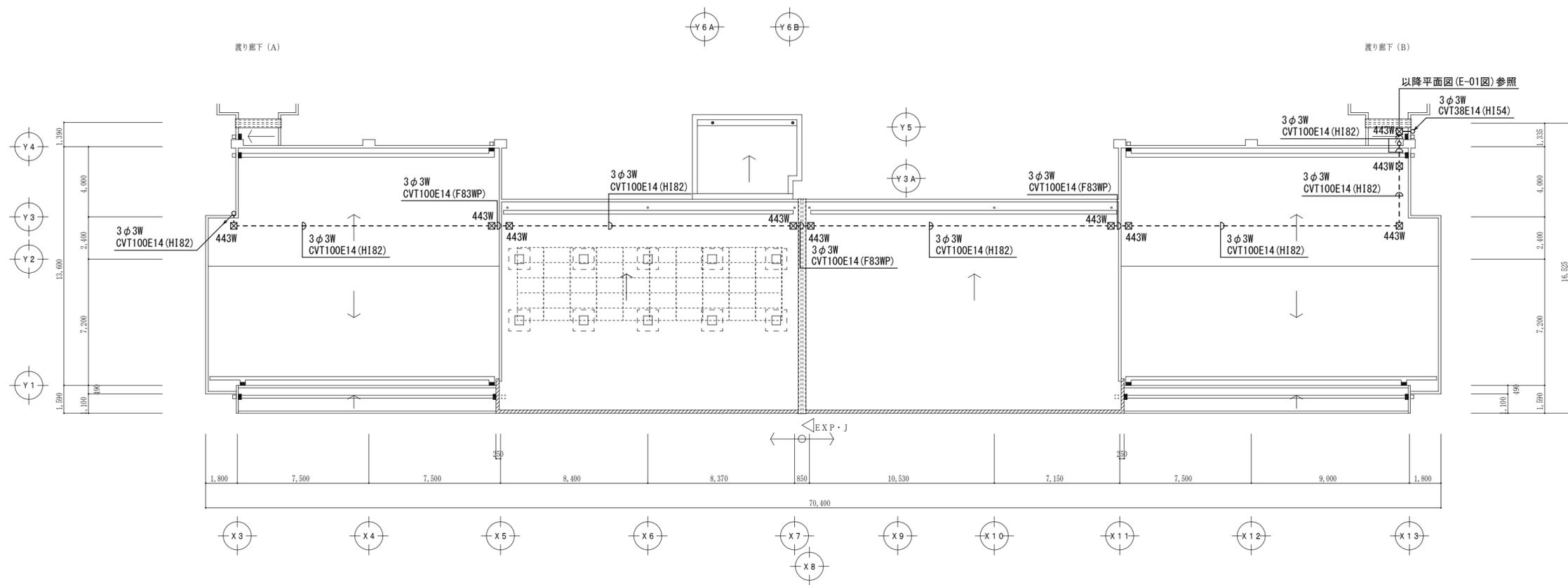
ブルボックス寸法	
221W	200×200×100 WPSUS
443W	400×400×300 WPSUS



1階 平面図 1/200

津市立一志西小学校

備考	 三重県知事登録第1-861 一級建築士 No.352551 田端 進也	設計代表者	設計担当者	SCALE	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校 特別教室 工事名称 空調設備設置工事 図面名称 動力設備 特別教室棟 1階・2階平面図	E-03 原図: A2
		一級建築士 No.352551 田端進也		A2 : 1/200 A3 : 1/282		
				DATE		



R階 平面図 1/200

津市立一志西小学校

備 考		 三重県知事登録第1-861 一級建築士 №352551 田端 進也	設計代表者	設計担当者	SCALE	津市立一志中学校及び津市立一志西小学校特別教室 工事名称 空調設備設置工事 図面名称 動力設備 特別教室棟 R階平面図	E-04 原図: A2
			一級建築士 №352551 田端進也		A2 : 1/200 A3 : 1/282		
				DATE			